

平成 24 年度

備前市 市民意識調査報告書

平成 24 年 6 月

目次

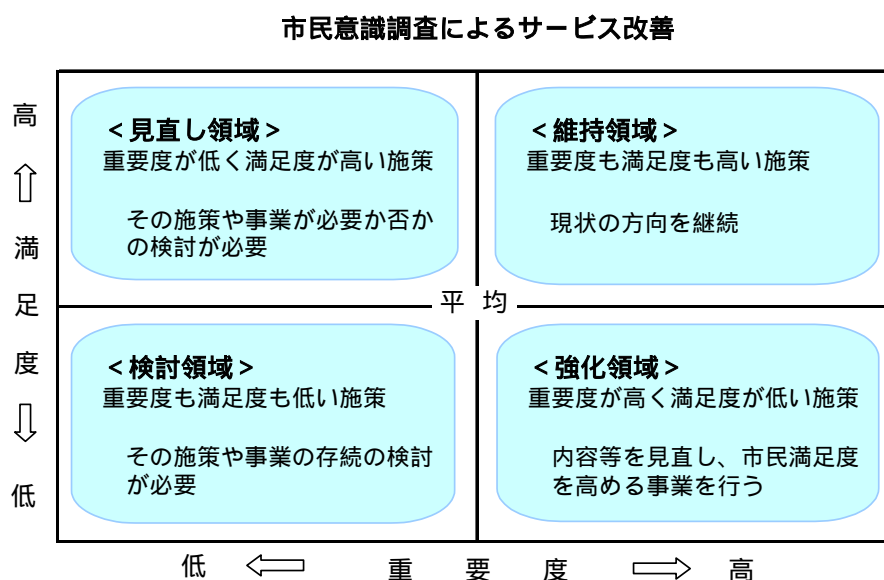
I . 重要度・満足度調査結果	1
1. 重要度・満足度からみた施策の分析	1
2. 重要度からみた施策の分析	12
3. 満足率・不満率からみた施策の分析	13
4. 満足度からみた施策の分析	14
5. 施策の重要度・満足度	15
II . 施策指標値調査結果	16
1. 安全で快適に暮らせるまちづくり	16
2. 健康でやさしさあふれるまちづくり	17
3. 地域文化とひとが輝くまちづくり	17
4. 市民主体の協働のまちづくり	18
5. 健全で自立したまちづくり	19
III . まちの総合点・求める市職員の姿	20
1. 備前市の総合点	20
2. 求める市職員の姿	20
IV . 住みやすさ・定住意向調査結果	21
1. 備前市の住みやすさについての調査	21
2. 定住意向調査結果	24
V . 調査の概要	26
1. 調査方法と回収結果	26
2. 回答者の属性	27
VI . 自由意見	34

巻末資料：調査票

1. 重要度・満足度調査結果

1. 重要度・満足度からみた施策の分析

本調査報告書は、市が担うサービスの受け手である市民に、市の施策に対する満足度や重要度について意見をうかがい、今後の市政運営に役立てることを目的として実施した平成24年度市民意識調査の結果をまとめたものです。

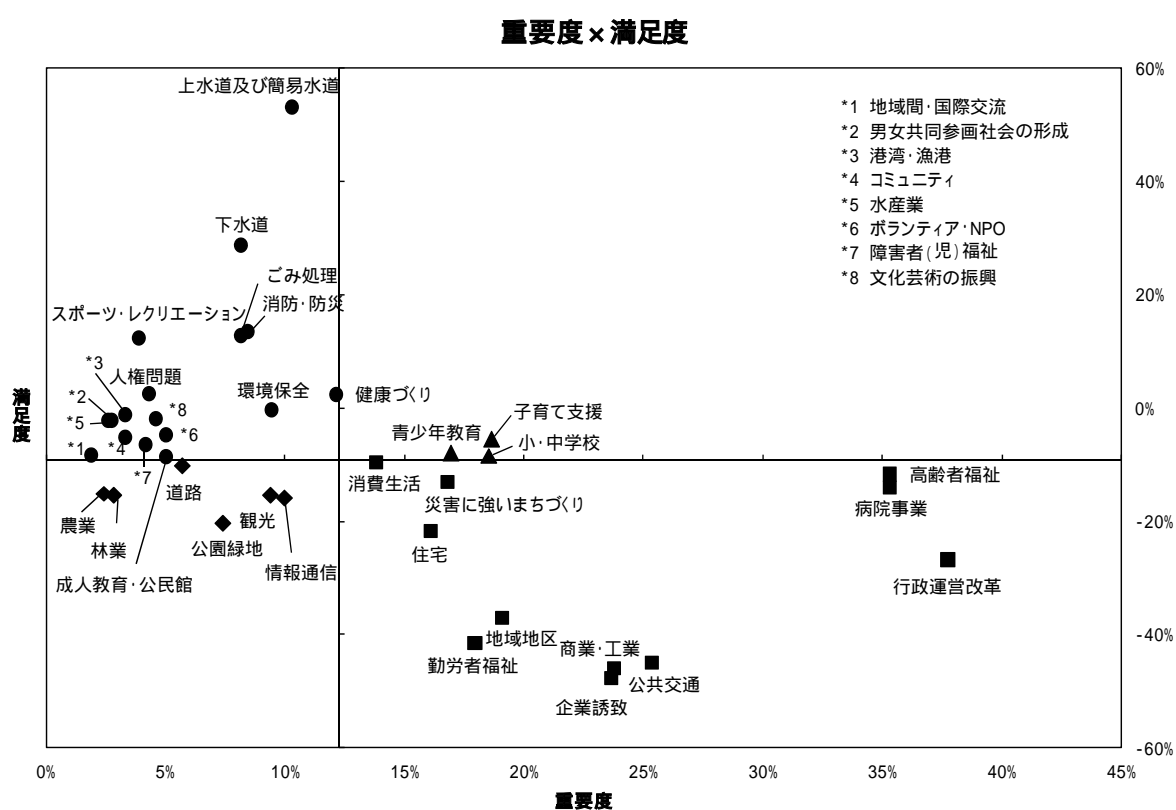


市が取り組んでいる施策（全 37 施策）について、横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、それぞれの平均値を交点としたグラフに、各アンケート項目をプロットした散布図を次ページに示しています。「強化領域」に位置する施策は、重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い、逆に「見直し領域」に位置する施策は重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高いということを表しています。また、「維持領域」に位置する施策は、重要度も満足度も平均値より高い、逆に「検討領域」に位置する施策は、重要度も満足度も平均値より低いということを表しています。なお、座標点は、「強化領域」を○、「見直し領域」を△、「維持領域」を□、「検討領域」を◇で表しています。

(1) 備前市全体の重要度・満足度

ここでは市が取り組んでいる施策（全 37 施策）を横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 12.3%、満足度-9.3%）を交点としたグラフに、各項目の結果をプロットする形で示しています。

重要度が高いにもかかわらず満足度が低い施策は、「行政運営改革」、「病院事業」、「高齢者福祉」が特に目立っており、そのほか「公共交通」、「企業誘致」、「商業・工業」、「勤労者福祉」、「地域地区」、「住宅」、「災害に強いまちづくり」、「消費生活」と合わせて 11 施策という結果になっています。また、各施策の重要度と満足度は、11 ページの一覧表のとおりです。



以下の表は、平成 19 年度から平成 24 年度までの 6 年間の重要度と満足度の平均値を表したものです。平成 24 年度の満足度は、前年度と比べると 0.8%下がっており、過去 5 年間と比較して 1 番低くなっています。

平均値	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
満足度	-11.7%	-11.0%	-12.7%	-9.8%	-10.1%	-9.3%
重要度	12.9%	12.4%	12.2%	12.5%	12.2%	12.3%

また、「災害に強いまちづくり」は、中項目で調査を実施しているため、中項目での重要度と満足度になっています。さらに、小項目（施策）の「成人教育」「公民館」は「成人教育・公民館」、「商業」「工業」は「商業・工業」とし、それぞれ 1 施策としての重要度と満足度としています。

【参考】重要度と満足度（満足率および不満率）の計算方法

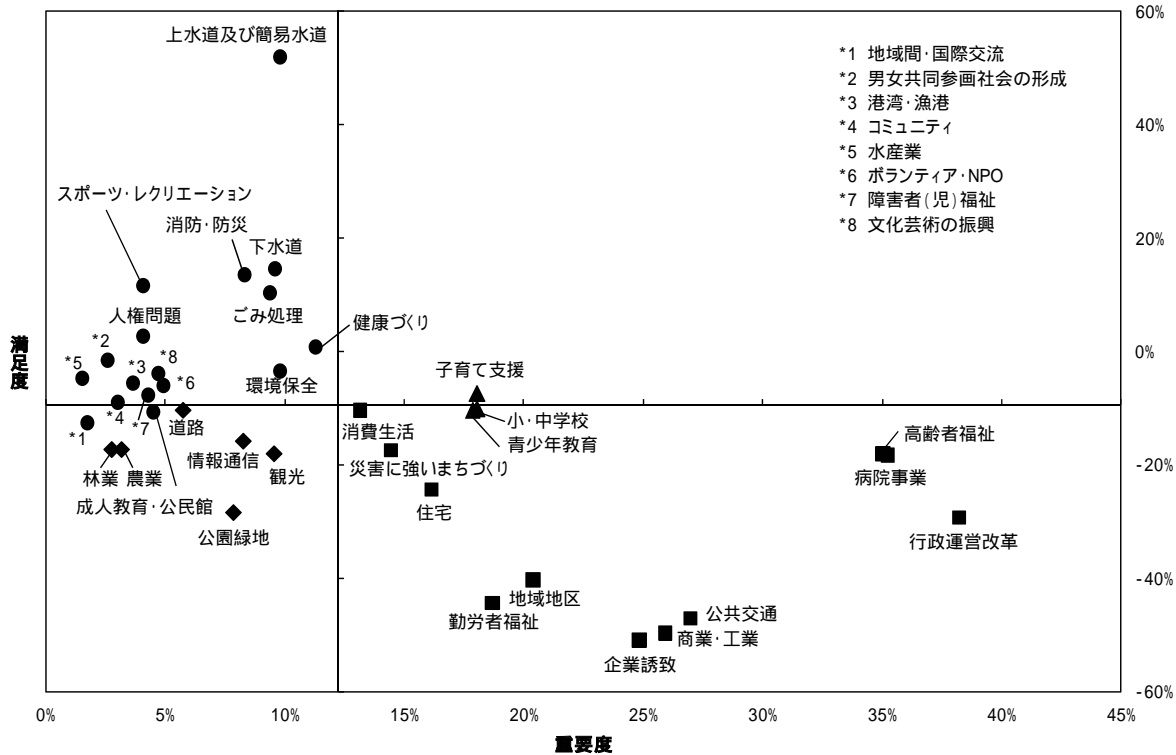
- ・重要度：当該施策が重要であると選択した人の割合（選択件数 / 有効回答数）
- ・満足度：「満足率（「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合）」から
「不満率（「やや不満」、「不満」と回答した人の割合）」を控除した数値
- ・満足率：「満足」「まあ満足」と回答した人の数 / 有効回答数
- ・不満率：「やや満足」「不満」と回答した人の数 / 有効回答数

(2) 地域別の重要度・満足度

ここでは市が取り組んでいる施策（全 37 施策）を横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 12.3%、満足度-9.3%）を交点としたグラフに、地域別（備前地域、日生地域、吉永地域）の結果をプロットする形で示しています。

備前地域の重要度・満足度を見ると、強化領域には、備前市全体の結果と同様の 11 施策に加えて、「小・中学校」「青少年教育」の 2 施策も含まれています。

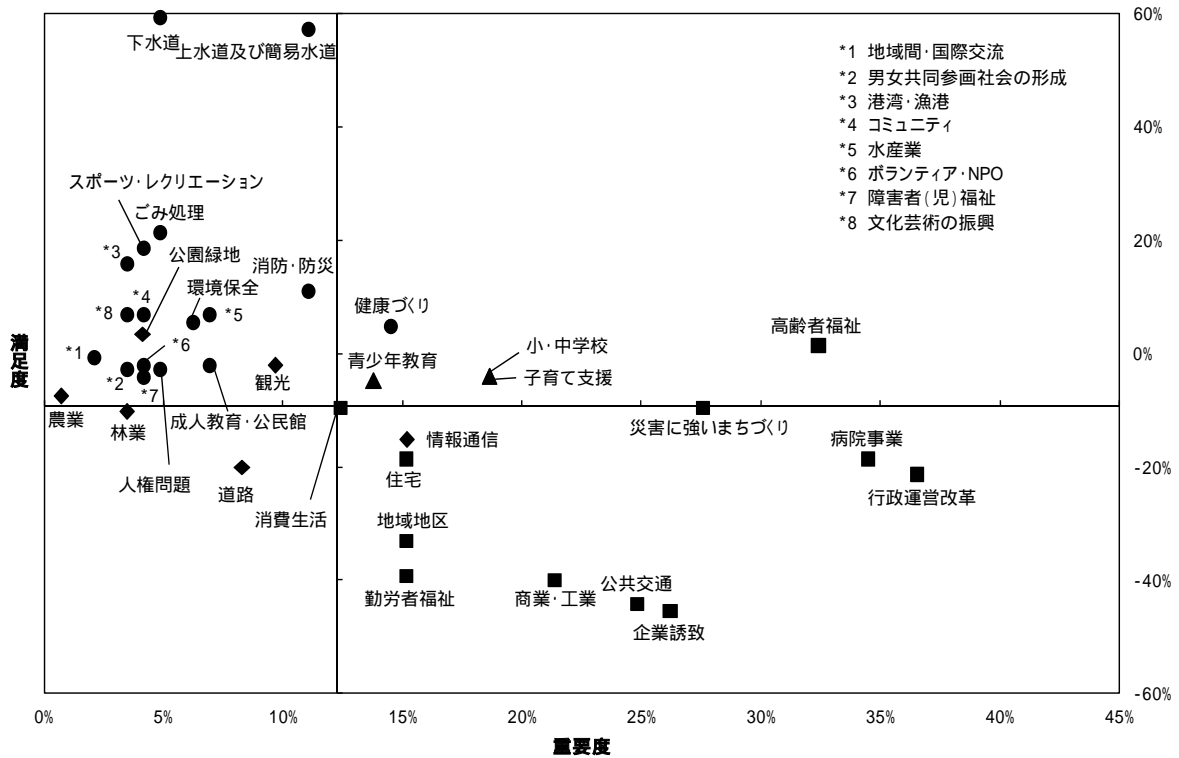
重要度×満足度-備前地域-



日生地域の重要度・満足度を見ると、備前市全体の結果、強化領域に位置づけられている

11 施策のうち「高齢者福祉」を除いた 10 施策が強化領域に位置づけられています。

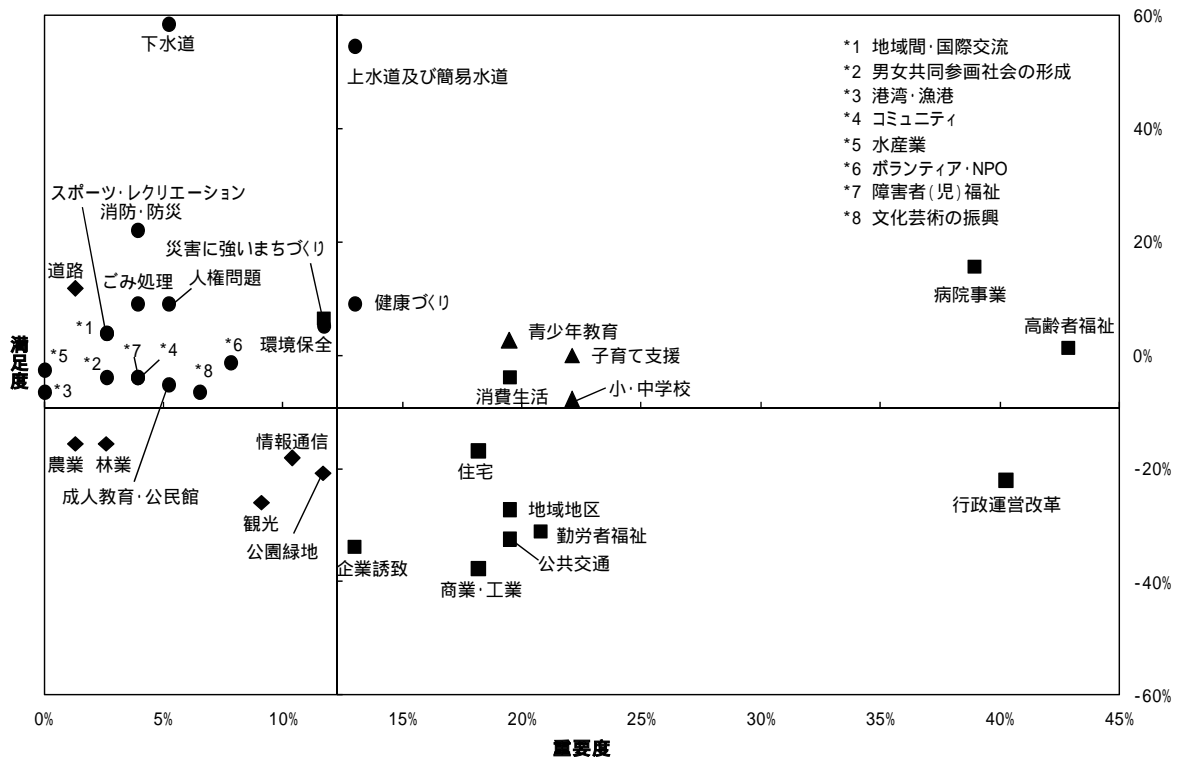
重要度×満足度-日生地域-



吉永地域の重要度・満足度を見ると、備前市全体の結果、強化領域に位置づけられている

11 施策のうち「高齢者福祉」「病院事業」「消費生活」「災害に強いまちづくり」を除いた 7 施策が強化領域に位置づけられています。

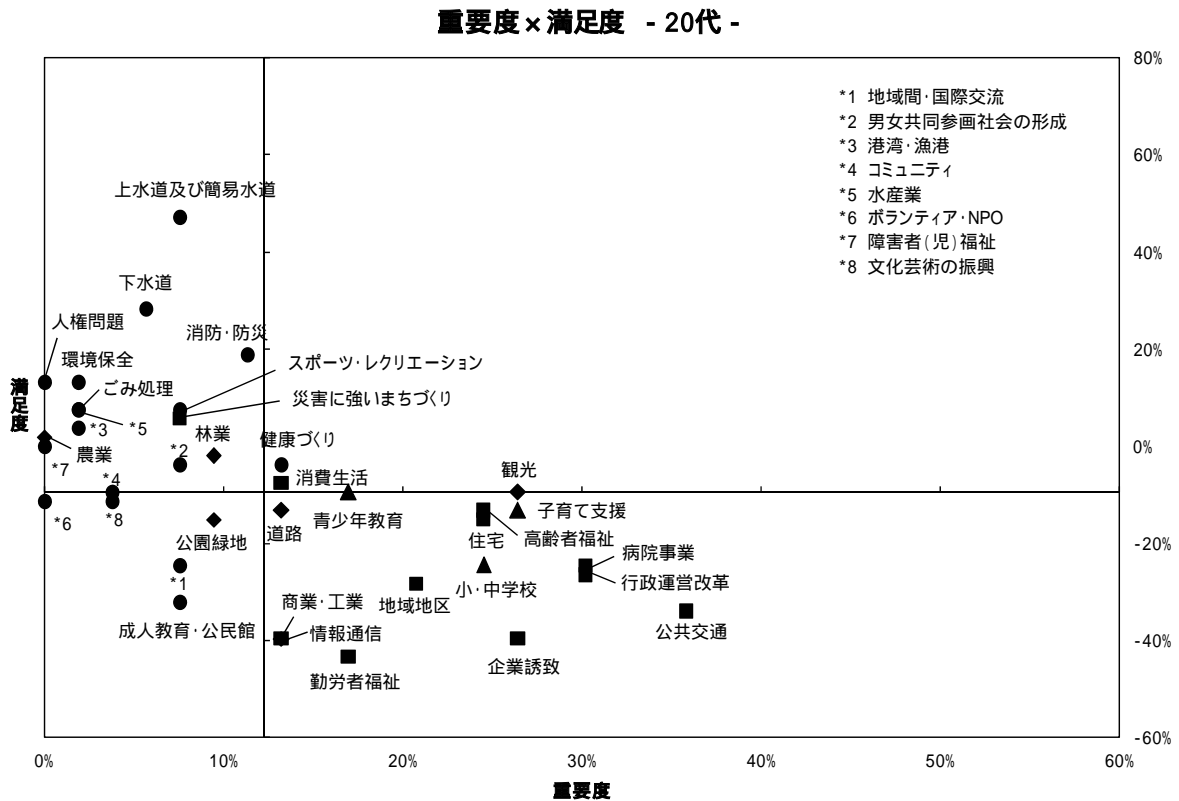
重要度×満足度-吉永地域-



(3) 年代別の重要度・満足度

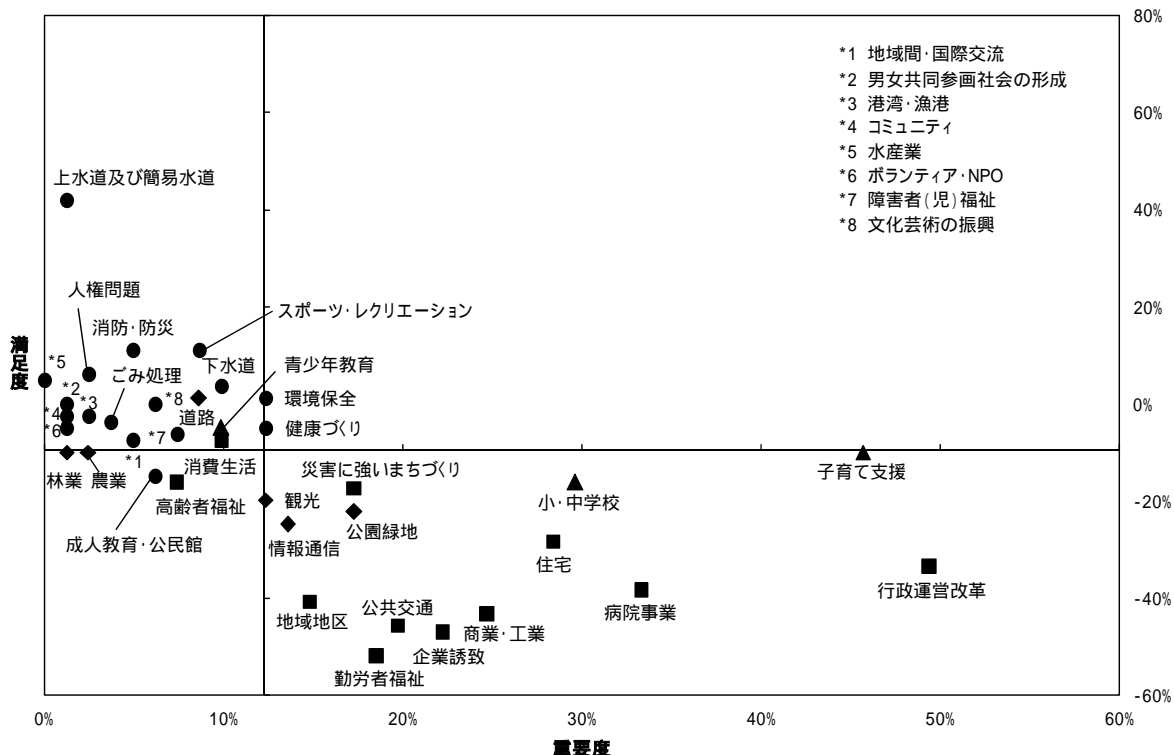
ここでは市が取り組んでいる施策（全 37 施策）を横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 12.3%、満足度-9.3%）を交点としたグラフに、年代別（20代、30代、40代、50代、60代、70代以上）の結果をプロットする形で示しています。

20代における重要度・満足度について、備前市全体の結果と比べると、「公共交通」の重要度が相対的に高くなっています。



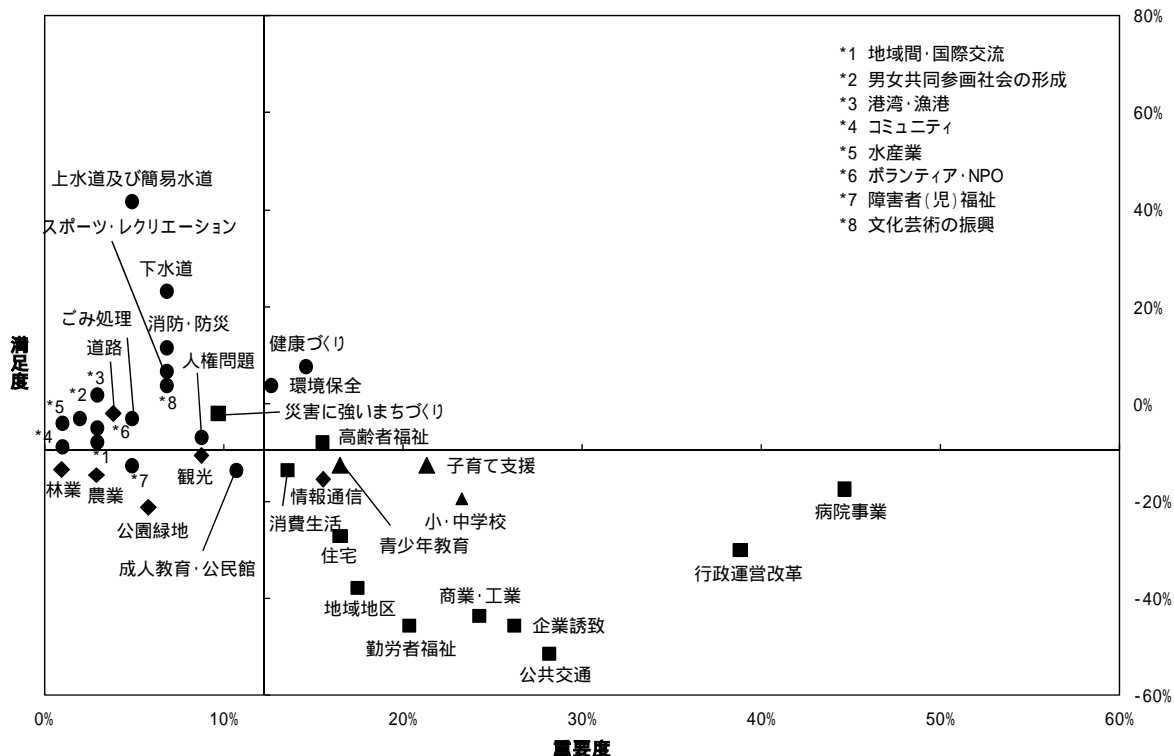
30代における重要度・満足度について、備前市全体の結果と比べると、「病院事業」「高齢者福祉」の重要度は低く、「子育て支援」の重要度が相対的に高くなっています。

重要度×満足度 - 30代 -



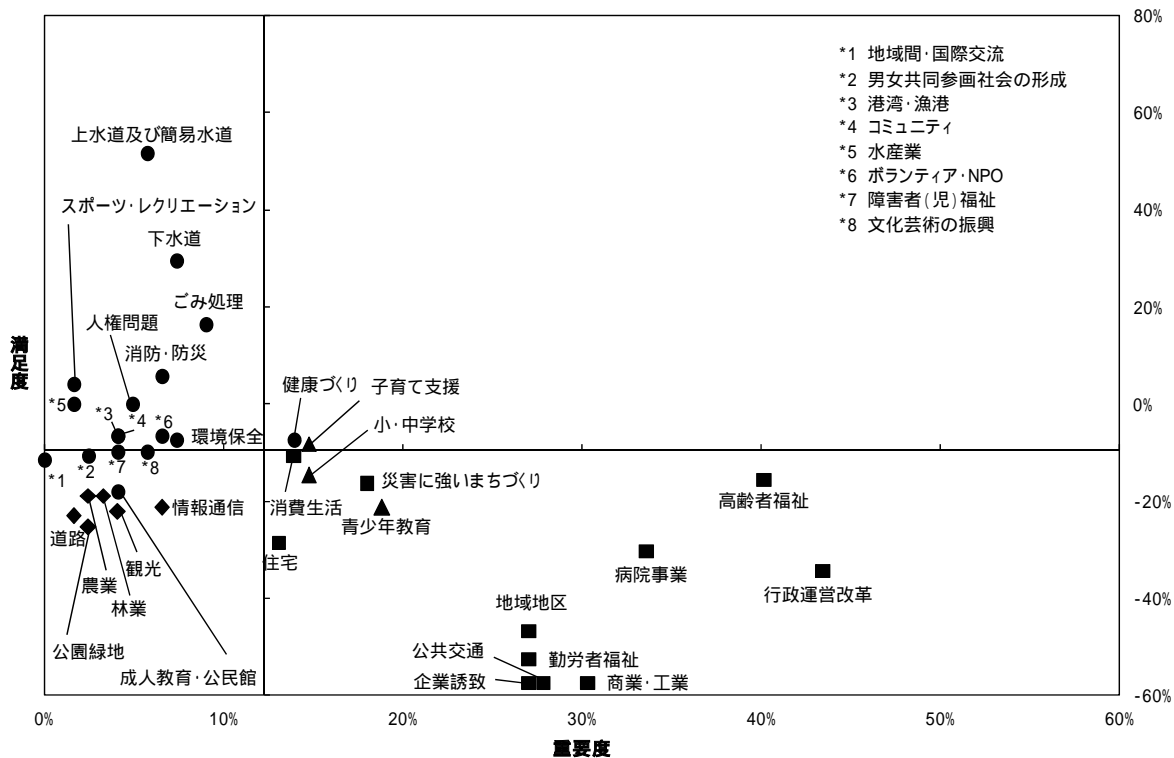
40代における重要度・満足度について、備前市全体の結果と比べると、「高齢者福祉」の重要度は低く、「行政運営改革」「病院事業」は備前市全体の結果と同様に相対的に高くなっています。

重要度×満足度 - 40代 -



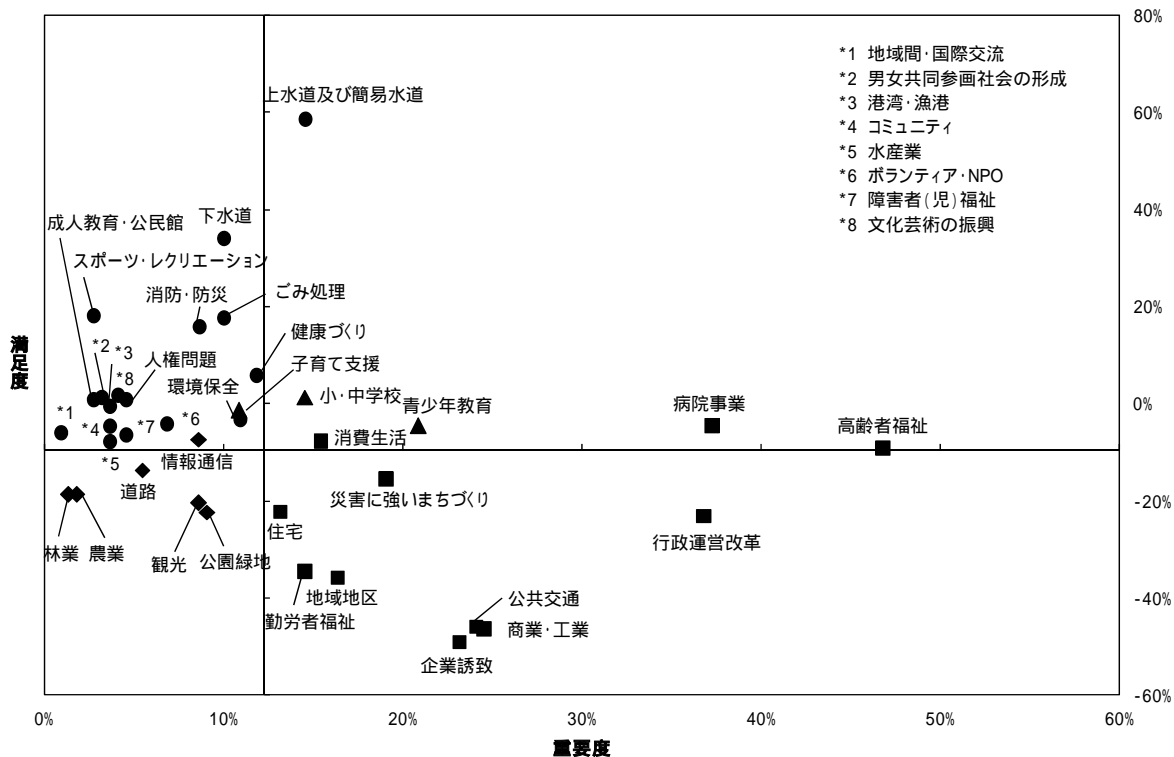
50代における重要度・満足度について、備前市全体の結果と比べると、「商業・工業」「公共交通」「企業誘致」「勤労者福祉」「地域地区」は満足度が低くなっています。

重要度×満足度 - 50代 -



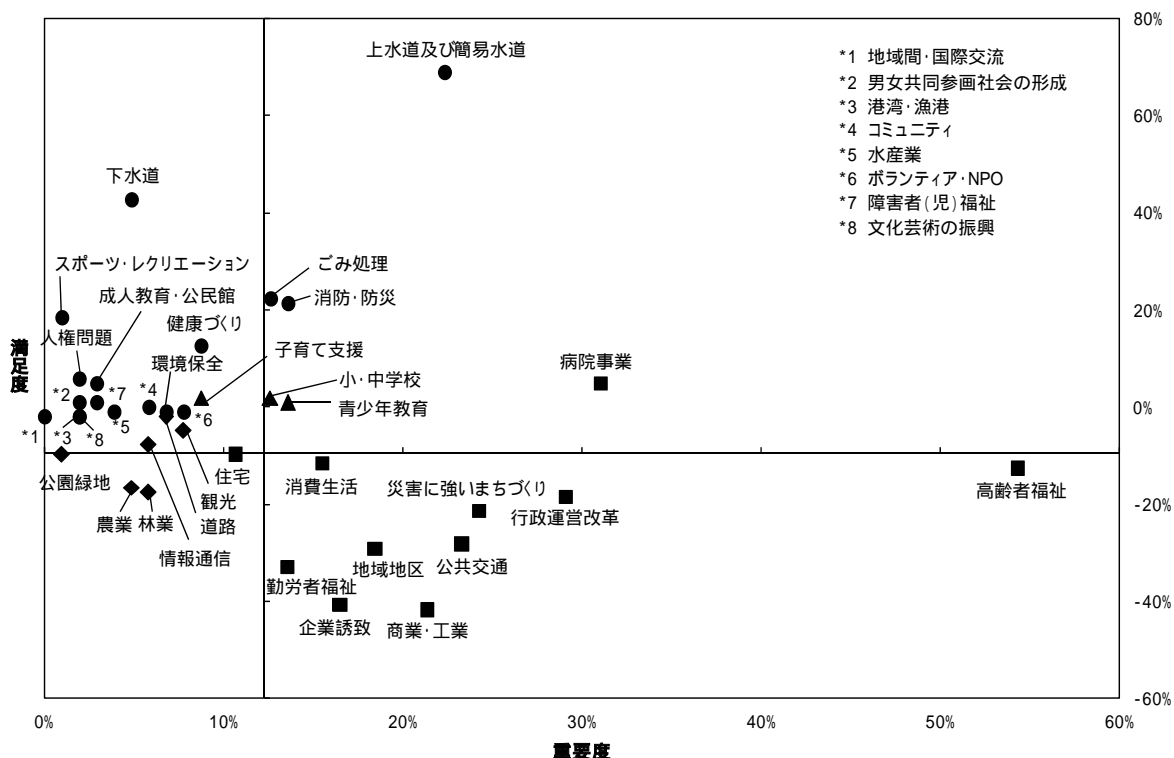
60代における重要度・満足度について、備前市全体の結果と比べると、「高齢者福祉」が相対的に高くなっています。

重要度×満足度 - 60代 -



70代以上における重要度・満足度について、備前市全体の結果と比べると、「行政運営改革」「病院事業」の重要度は低く、「高齢者福祉」の重要度が相対的に高くなっています。

重要度×満足度 - 70代以上 -



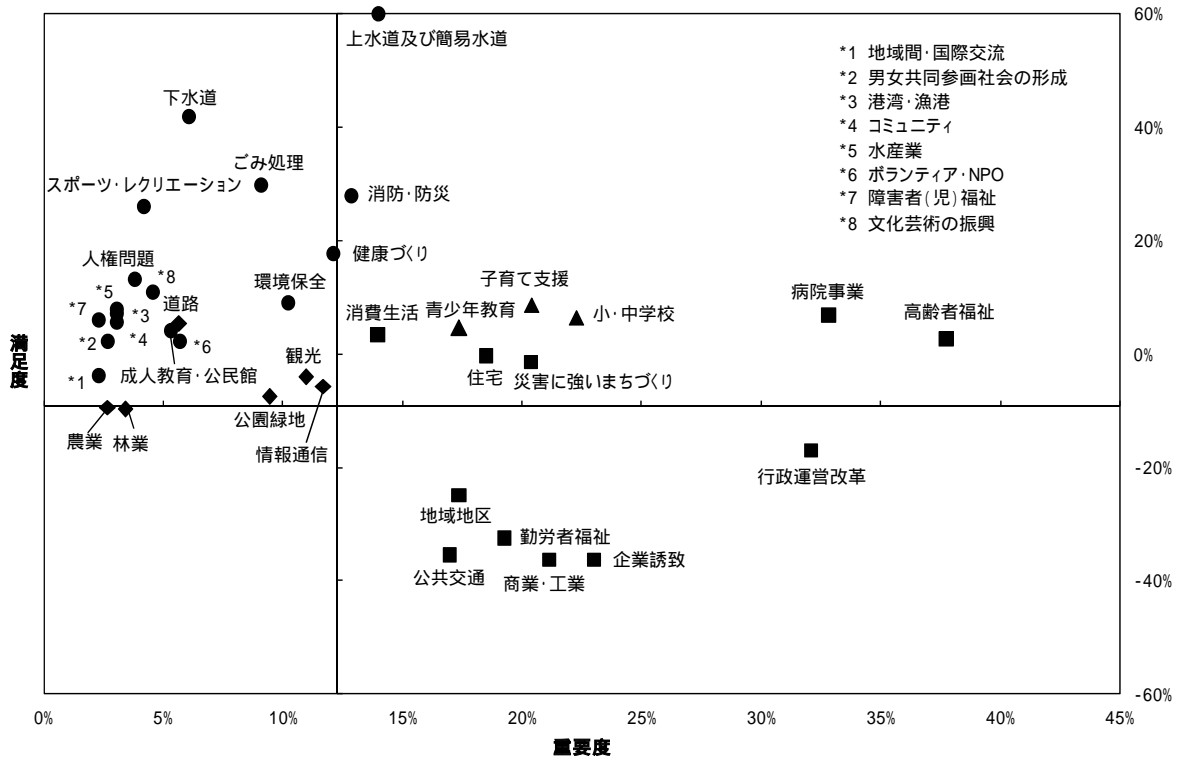
(4) 住みやすさ別の重要度・満足度

ここでは市が取り組んでいる施策（全 37 施策）を横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 12.3%、満足度-9.3%）を交点としたグラフに、備前市の住みやすさの調査結果別（住みよい（「住みよい」「まあ住みよい」）、住みにくい（「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」）の結果をプロットする形で示しています。

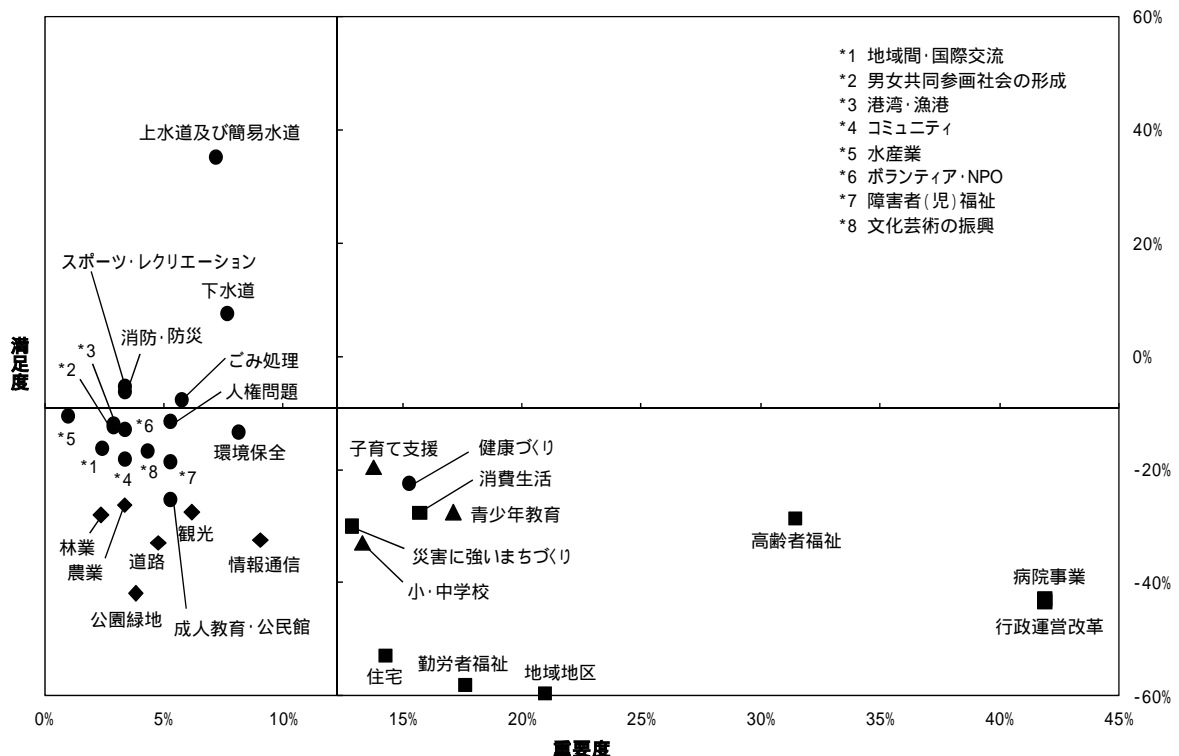
備前市の住みやすさの調査で住みよいと回答した市民の重要度・満足度を見ると、「行政運営改革」「企業誘致」「商業・工業」「勤労者福祉」「公共交通」「地域地区」の 6 施策を除く 31 施策の満足度が平均値より高くなっています。

また、備前市の住みやすさの調査で住みにくいと回答した市民の重要度・満足度を見ると、「上水道及び簡易水道」「下水道」「スポーツレクリエーション」「消防・防災」「ごみ処理」の 5 施策を除く 32 施策の満足度が平均値より低くなっています。

重要度×満足度 - 住みよい -



重要度×満足度 - 住みにくい -



(5) 定住意向別の重要度・満足度

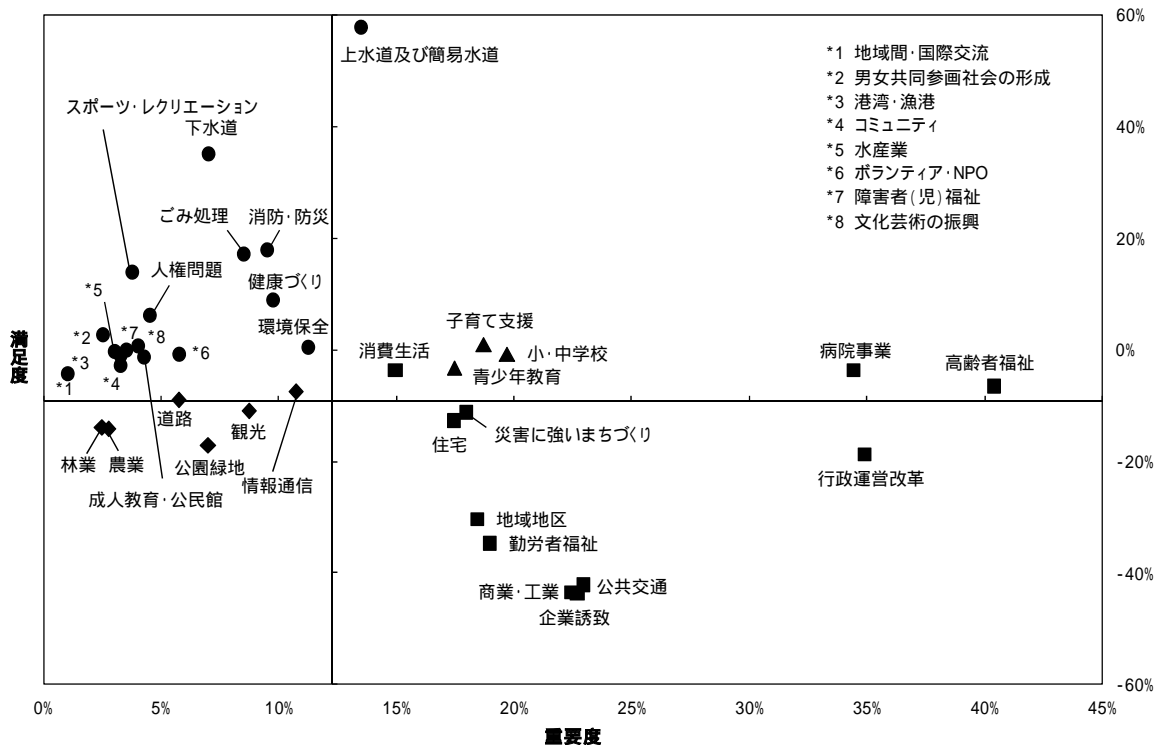
ここでは市が取り組んでいる施策（全 37 施策）を横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、備前市全体の平均値（重要度 12.3%、満足度-9.3%）を交点としたグラフに、定住意向の調査結果別（住み続けたい（「今の場所に住み続けたい」「市内でよいところがあれば引っ越したい」）、市外へ引っ越したい）の結果をプロットする形で示しています。

定住意向の調査で住み続けたいと回答した市民の重要度・満足度を見ると、「高齢者福

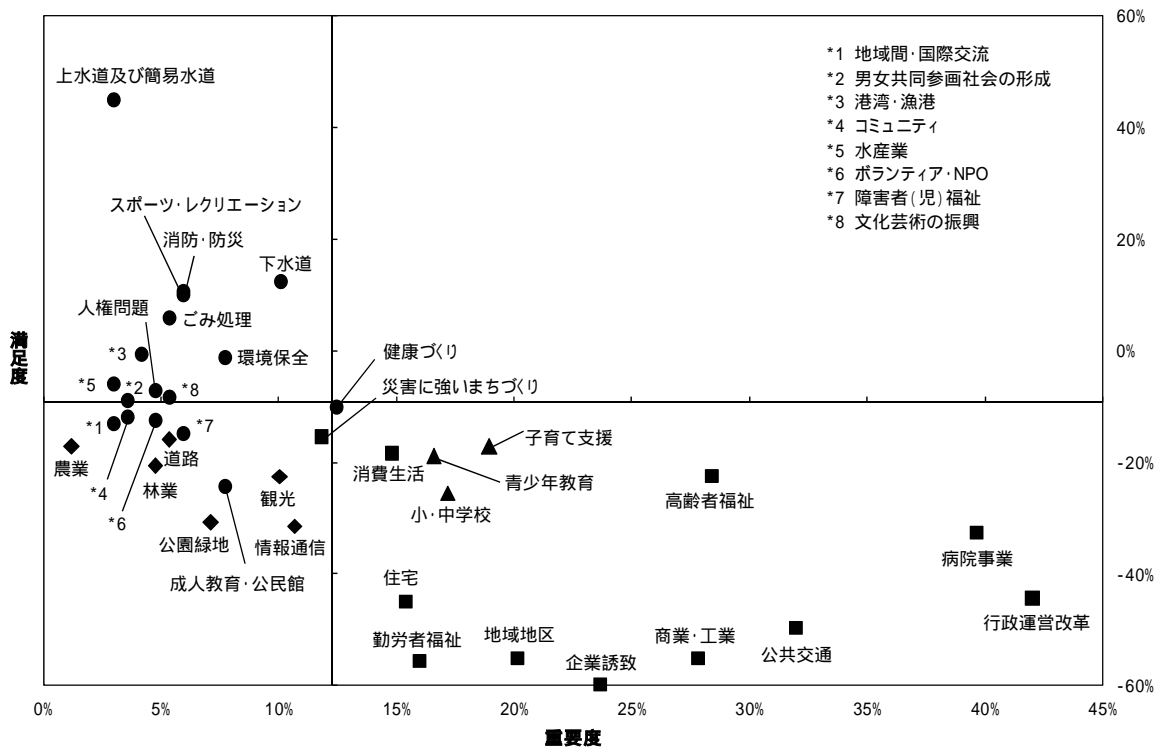
社」「行政運営改革」「病院事業」の3施策の重要度が相対的に高くなっています。

また、定住意向の調査で市外へ引っ越したいと回答した市民の重要度・満足度を見ると、「行政運営改革」「病院事業」の2施策の重要度が相対的に高くなっています。

重要度×満足度 - 住み続けたい -



重要度×満足度 - 市外へ引っ越したい -

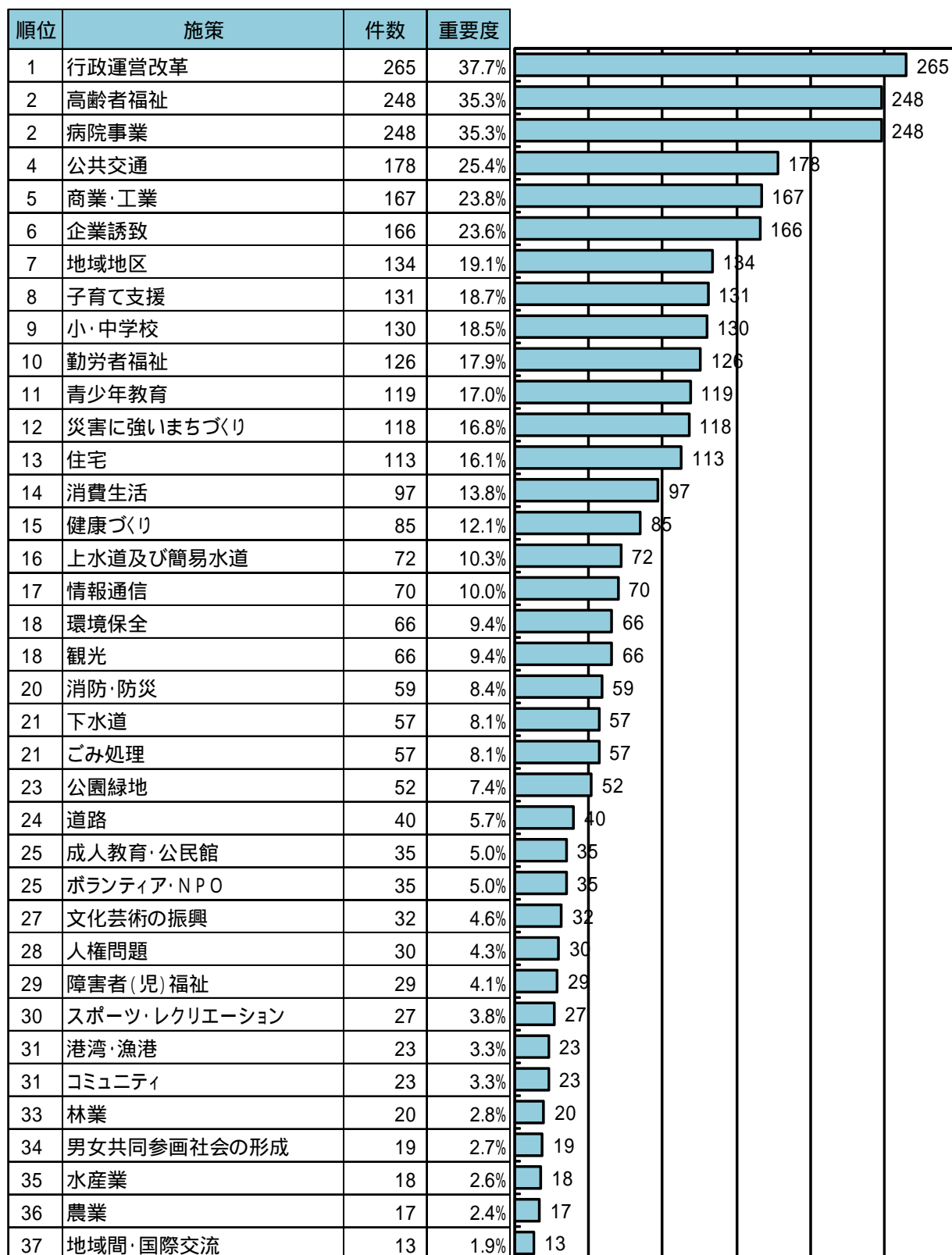


大項目	中項目	小項目(施策)	重要度	満足度
安全で快適に暮らせるまちづくり	生活しやすいまちづくり	地域地区()	19.1%	-37.0%
		住宅()	16.1%	-21.8%
		公園緑地	7.4%	-20.4%
		上水道及び簡易水道	10.3%	53.1%
		下水道	8.1%	28.8%
		道路	5.7%	-10.3%
		公共交通()	25.4%	-45.0%
		港湾・漁港	3.3%	-1.1%
		ごみ処理	8.1%	12.8%
		情報通信	10.0%	-16.0%
	自然と共生するまちづくり	環境保全	9.4%	-0.3%
	災害に強いまちづくり()	河川改修・砂防施設整備	16.8%	-13.1%
		ため池・治山対策		
		海岸整備		
安全で安心して暮らせるまちづくり	消防・防災	8.4%	13.5%	
	消費生活()	13.8%	-9.7%	
健康でやさしさあふれるまちづくり	やさしさあふれるまちづくり	子育て支援	18.7%	-5.6%
		障害者(児)福祉	4.1%	-6.4%
		高齢者福祉()	35.3%	-11.7%
	健やかで生き生きしたまちづくり	健康づくり	12.1%	2.4%
		病院事業()	35.3%	-14.1%
地域文化とひとが輝くまちづくり	未来を支える人材を育むまちづくり	小・中学校	18.5%	-8.4%
	生きがいのあるまちづくり	青少年教育	17.0%	-8.0%
		成人教育	5.0%	-8.5%
		公民館		
		スポーツ・レクリエーション	3.8%	12.4%
	歴史と文化の輝くまちづくり	文化芸術の振興	4.6%	-1.9%
もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	豊かな食を支えるまちづくり	農業	2.4%	-15.1%
		林業	2.8%	-15.5%
		水産業	2.6%	-2.1%
	起業と創造が支えるまちづくり	企業誘致()	23.6%	-47.7%
		商業・工業()	23.8%	-46.0%
		勤労者福祉()	17.9%	-41.5%
	個性あふれる観光のまちづくり	観光	9.4%	-15.5%
市民主体の協働のまちづくり	市民主体で進めるまちづくり	コミュニティ	3.3%	-5.1%
		ボランティア・NPO	5.0%	-4.7%
	ふれあい豊かなまちづくり	地域間・国際交流	1.9%	-8.3%
		男女共同参画社会の形成	2.7%	-2.1%
		人権問題	4.3%	2.6%
健全で自立したまちづくり	簡素で効率的な行財政運営	行政運営改革()	37.7%	-26.8%
平均			12.3%	-9.3%

は、重要度が平均値を上回り、かつ満足度が平均値を下回っている(強化領域)の施策を表しています。

2. 重要度からみた施策の分析

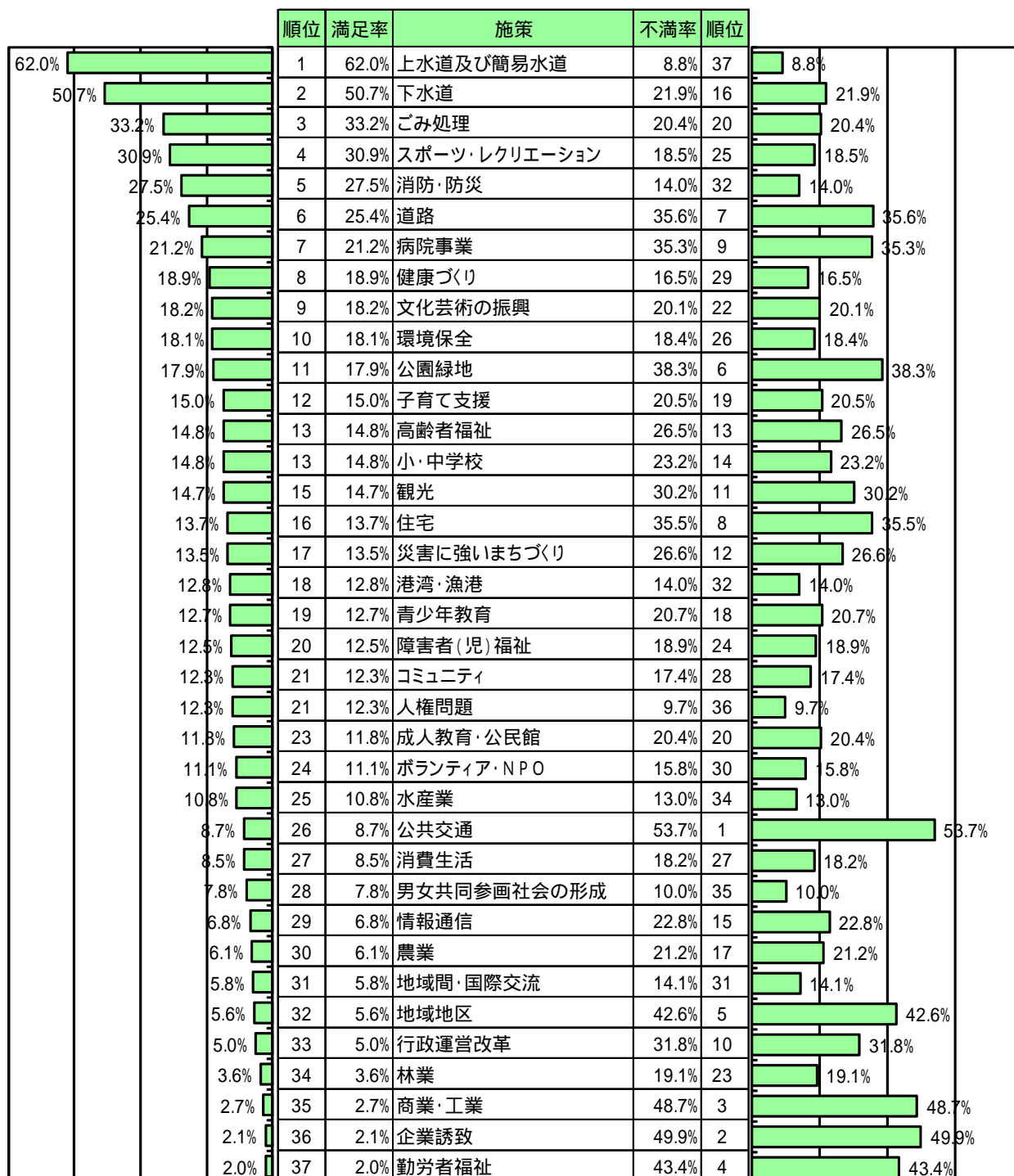
重要度調査（問 5「あなたは、備前市のまちづくりにとって、次に示す項目のうち何が重要だと思いますか？あてはまる項目を5つまで選んで、番号に をつけてください。」）の結果、もっとも重要度が高かった施策は「行政運営改革」265件（37.7%）、次いで「高齢者福祉」248件（35.3%）、「病院事業」248件（35.3%）となっています。



3. 満足率・不満率からみた施策の分析

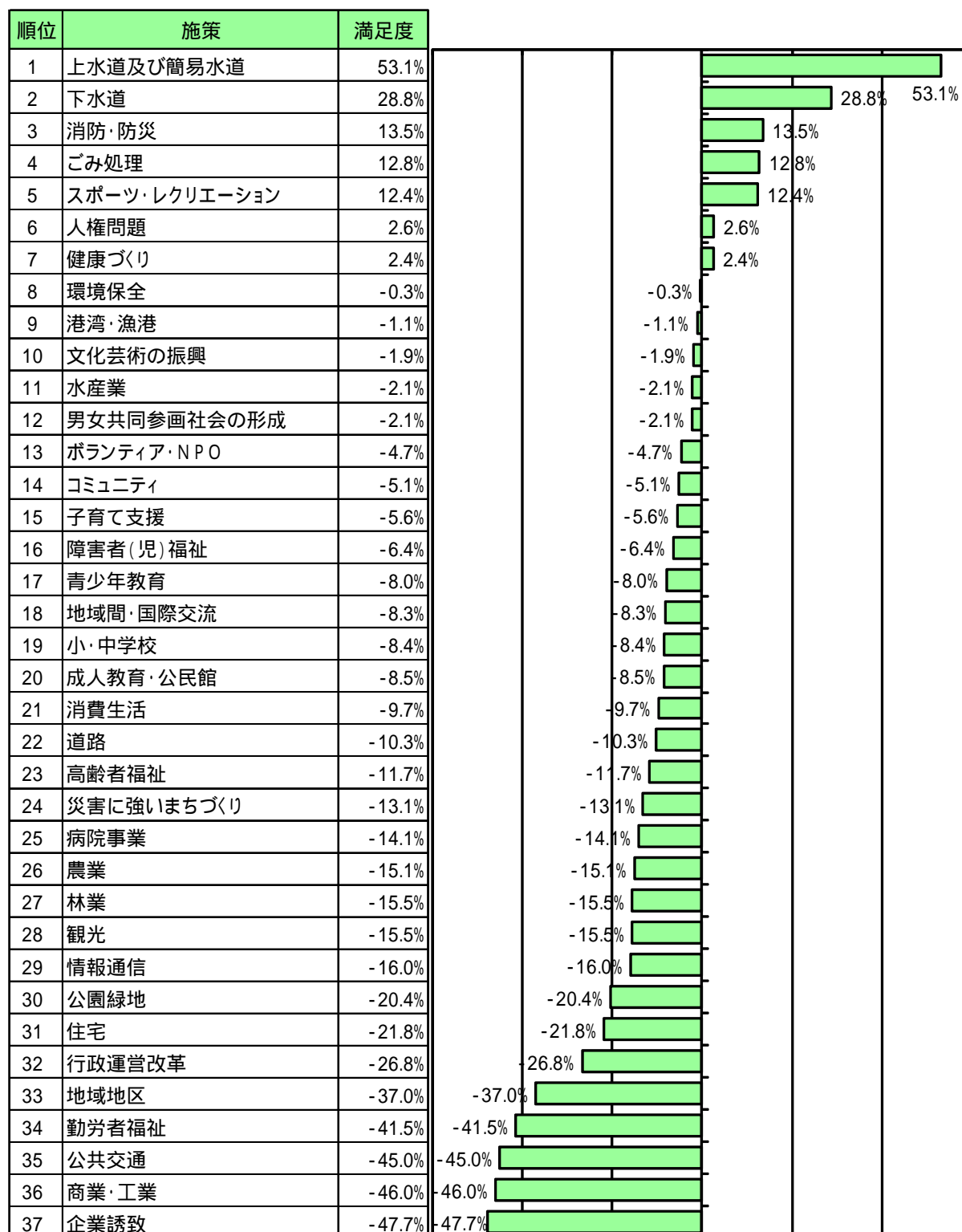
満足度調査（問 6「次に示す備前市の取り組みについて、あなたはどの程度満足していますか？各項目ごとにあてはまる番号に をつけてください。」）の結果、「満足」「まあ満足」と回答した人の割合（満足率）は、「上水道及び簡易水道」が 62.0%ともっとも高く、次いで「下水道」が 50.7%、「ゴミ処理」が 33.2%などとなっています。

一方、「やや不満」「不満」と回答した人の割合（不満率）が高い施策は「公共交通」が 53.7%、「企業誘致」が 49.9%、「商業・工業」が 48.7%などとなっています。



4. 満足度からみた施策の分析

満足度調査（問 6「次に示す備前市の取り組みについて、あなたはどの程度満足していますか？各項目ごとにあてはまる番号に をつけてください。」）の結果、もっとも満足度が高かった施策は「上水道及び簡易水道」で 53.1%となっています。次いで「下水道」28.8%、「消防・防災」13.5%などとなっており、満足度がプラス（「満足」「まあ満足」と回答した人数が「やや不満」「不満」と回答した人数を上回っている施策）の施策は 7 施策となっています。



5. 施策の重要度・満足度

ここでは平成 24 年度調査における備前市全体の「重要度上位 10 施策」・「満足度下位 10 施策」を、平成 19 年度から平成 23 年度までの順位と比較しています。

(1) 重要度上位 10 施策

順位	H24 年度	H23 順位	H22 順位	H21 順位	H20 順位	H19 順位
	施策名					
1	行政運営改革	2	1	2	1	1
2	高齢者福祉	3	3	3	3	3
3	病院事業	1	2	1	2	2
4	公共交通	4	8	6	7	6
5	商業・工業	6	6	11	8	4
6	企業誘致	5	11	10	11	8
7	地域地区	7	12	13	14	12
8	子育て支援	10	4	4	4	7
9	小・中学校	9	7	8	9	11
10	勤労者福祉	8	5	7	12	9

平成 24 年度の施策の重要度は、高い順に「行政運営改革」「高齢者福祉」「病院事業」となっています。また、平成 19 年度以降、重要度の上位 3 施策は「行政運営改革」「高齢者福祉」「病院事業」となっており、順位の入替わりはあるものの毎年同じ施策となっています。

(2) 満足度下位 10 施策

順位	H24 年度	H23 順位	H22 順位	H21 順位	H20 順位	H19 順位
	施策名					
37	企業誘致	37	37	37	36	37
36	商業・工業	35	36	36	35	35
35	公共交通	36	33	33	31	32
34	勤労者福祉	33	35	35	32	34
33	地域地区	34	34	34	37	36
32	行政運営改革	32	31	32	34	33
31	住宅	28	27	30	29	31
30	公園緑地	30	28	21	23	29
29	情報通信	27	24	24	26	25
28	観光	29	30	28	24	22

平成 24 年度の施策の満足度は低い順に「企業誘致」「商業・工業」「公共交通」となっています。また、満足度下位 3 施策は順位の入替わりはあるものの平成 23 年度と同じ施策となっています。

II. 施策指標値調査結果

本調査では、施策評価を推進するにあたって設定した施策指標のうち、市民意識調査で実績値を測定することが必要なものについての調査も実施しました（問 7～26（問 24 は除く））。その結果を、施策体系別に以下のように整理しています。なお、指標名の後ろに「 」がついている指標は、指標値が下がることにより成果が上がる（値を下げるのが目標である指標）を表しています。また、指標値の欄が「 - 」のものについては、該当する年度に調査を行わなかったものです。

1. 安全で快適に暮らせるまちづくり

(1) 生活しやすいまちづくり

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
公共交通	週に1回以上市内路線バスを利用している市民の割合	6.7%	4.6%	4.1%	3.8%	2.7%	3.8%	3.3%
ごみ処理	ごみの減量化、資源化に取り組んでいる市民の割合	79.5%	84.1%	87.3%	87.5%	89.1%	87.9%	85.0%
火葬場・墓地	将来、市営墓地を利用したいと考えている市民の割合							14.7%

(2) 自然と共生するまちづくり

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
環境保全	騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合（ ）	23.3%	25.6%	22.8%	21.6%	20.7%	18.8%	22.2%
	地球温暖化防止のための行動に取り組んでいる市民の割合						46.0%	38.0%

(3) 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
交通安全	交通マナーが守られていると感じている市民の割合		21.1%	20.0%	23.2%	21.9%	26.2%	18.8%
消防・防災	自主防災組織に加入している市民の割合						12.8%	7.8%
地域防犯	治安が悪くなっていると感じている市民の割合（ ）	39.4%	39.5%	41.7%	40.8%	31.8%	28.5%	29.5%

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
消費生活	この1年間に何らかの消費トラブルにあったことのある市民の割合()	11.2%	8.7%	8.1%	7.3%	4.3%	4.9%	5.6%

2. 健康でやさしさあふれるまちづくり

(1) やさしさあふれるまちづくり

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
子育て支援	安心して子どもを育てることができると感じている市民の割合	13.4%	18.0%	12.1%	12.4%	17.4%	20.2%	16.2%
高齢者福祉	高齢者が安心して生活できると感じている市民の割合	17.6%	16.6%	11.5%	12.6%	15.0%	18.7%	17.9%

(2) 健やかで生き生きしたまちづくり

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
健康づくり	自分の健康に気をつけている市民の割合	88.1%	88.4%	90.9%	88.5%	89.3%	88.8%	90.7%
	健康診査を毎年受けている市民の割合					74.2%	70.7%	73.4%
	たばこを吸っている市民の割合()					19.0%	18.6%	17.1%

3. 地域文化とひとが輝くまちづくり

(1) 未来を支える人材を育むまちづくり

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
小・中学校	子どもが楽しんで学校生活をおくっていると感じている市民の割合		30.7%	26.2%	28.1%	28.7%	31.3%	29.3%
学校給食	学校給食において食育が重要であると感じている市民の割合	54.7%	69.8%	66.6%	64.3%	67.3%	63.0%	62.7%

(2) 生きがいのあるまちづくり

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
成人教育・公民館	自発的な学習に取り組んだり、趣味の会やサークル活動に参加している市民の割合	32.9%	33.2%	33.6%	32.3%	34.9%	32.3%	30.6%
図書館・視聴覚ライブラリー	市の図書館を月に1回以上利用している市民の割合						9.6%	8.5%
スポーツ・レクリエーション	週に1日以上運動をしている市民の割合					42.4%	42.7%	40.7%

4. 市民主体の協働のまちづくり

(1) 市民主体で進めるまちづくり

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
広聴広報	「広報びぜん」を読んでいる市民の割合	83.7%	83.3%	85.8%	83.9%	85.5%	84.1%	81.3%
ボランティア・NPO	この1年で何らかのボランティア活動を行ったことのある市民の割合	35.3%	36.3%	34.9%	36.4%	38.0%	32.0%	29.9%

(2) ふれあい豊かなまちづくり

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
男女共同参画社会の形成	地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	13.9%	18.2%	17.6%	16.5%	20.6%	20.1%	17.5%

5. 健全で自立したまちづくり

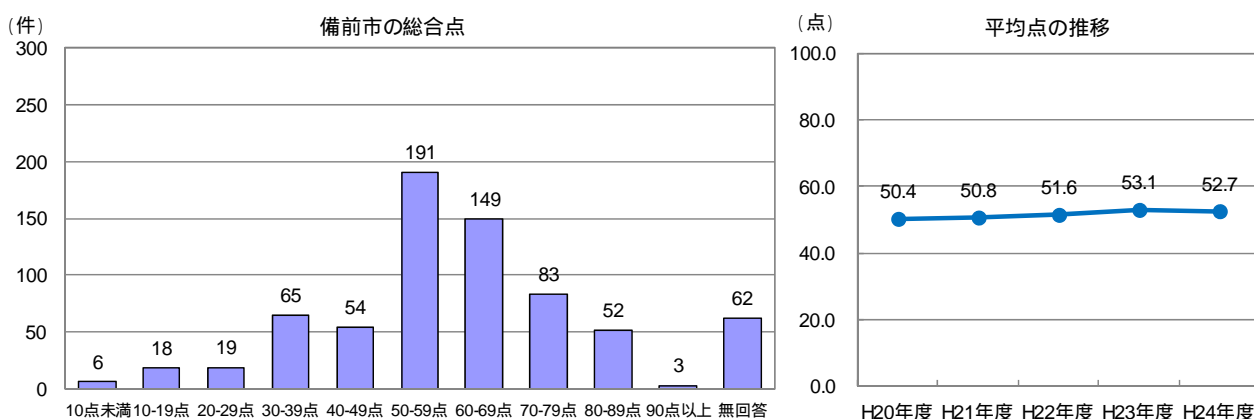
(1) 簡素で効率的な行財政運営

施策	指標名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
行政運営改革	この1年間で市役所（総合支所を含む）の窓口で、手続き上の不便を感じたことがある市民の割合（ ）	22.1%	23.8%	23.1%	21.0%	19.7%	19.8%	22.9%
情報公開	市の情報公開は進んでいると感じている市民の割合	13.1%	13.0%	14.0%	12.9%	13.4%	15.5%	15.1%
	情報公開制度や個人情報保護制度があることを知っている市民の割合		61.1%	59.6%	59.4%	61.0%	56.6%	56.8%
広域行政	合併の結果、生活環境がよくなったと感じている市民の割合	3.5%	3.1%	1.8%	3.3%	4.3%	5.2%	2.8%
	合併の結果、生活環境が悪くなったと感じている市民の割合（ ）	26.8%	32.6%	46.1%	37.7%	36.6%	38.9%	34.6%
その他事務管理（議会）	市議会議員の活動内容を知っている市民の割合						29.3%	23.5%
その他事務管理（共通）	市の窓口での対応に満足している市民の割合	31.6%	33.4%	31.7%	31.0%	35.5%	32.7%	32.5%

Ⅲ. まちの総合点・求める市職員の姿

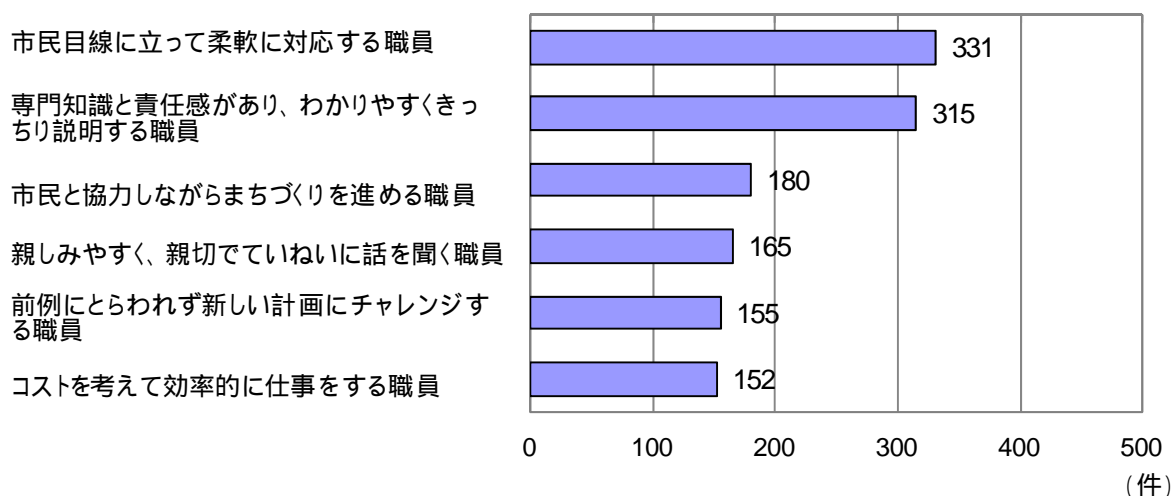
1. 備前市の総合点

まちの総合点の調査（問 27「備前市全体についておうかがいします。現在、あなたにとって備前市（まち全体）は 100 点満点で何点ですか？」）の結果、50-59 点が 191 件、60-69 点が 149 件、70-79 点が 83 件などとなっています。また、平成 20 年度から 5 ヵ年の平均点の推移を見ると、平成 24 年度は若干下がりましたが、高くなっている傾向にあります。



2. 求める市職員の姿

求める市職員の姿の調査（問 24「これからの備前市政を進めるにあたり、あなたが今後特に重要であると思う市職員の姿はどれだと思いますか？あてはまる番号を 2 つまで選んで をつけてください。」）の結果、「市民目線に立って柔軟に対応する職員」が 331 件ともっとも多く、次いで「専門知識と責任感があり、わかりやすくきっちり説明する職員」が 315 件となっています。

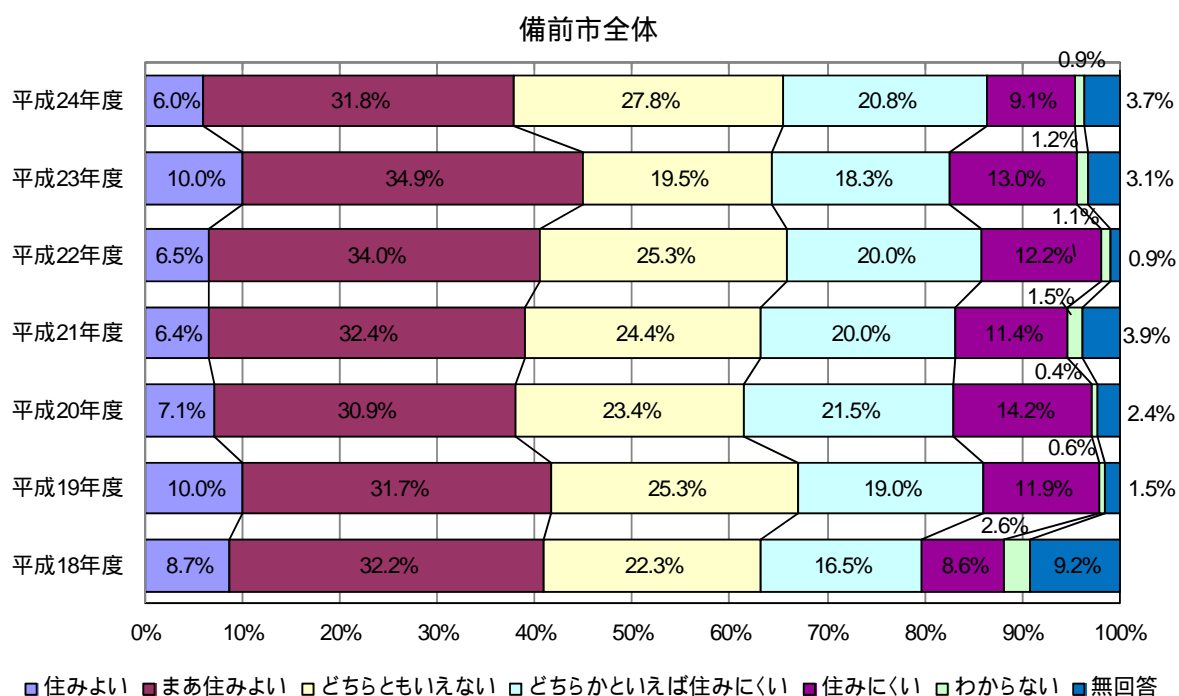


IV. 住みやすさ・定住意向調査結果

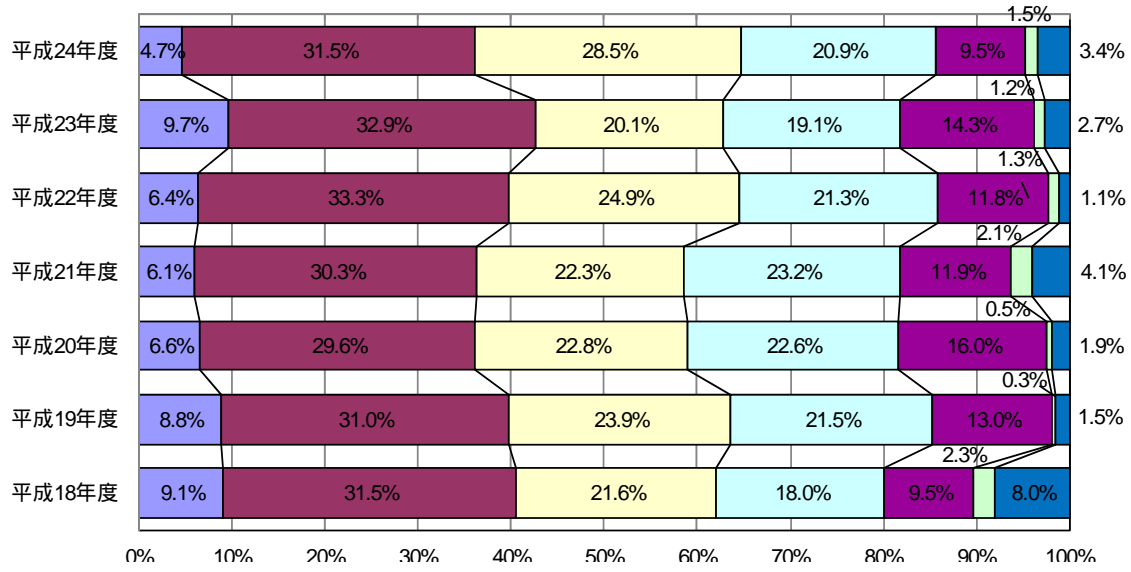
1. 備前市の住みやすさについての調査

備前市の住みやすさの調査（問1「あなたは、備前市の住みやすさについてどう思われますか？」）の結果、「住みよい」と回答した市民の割合は6.0%、「まあ住みよい」が31.8%で、両者を合わせると37.8%となっています。

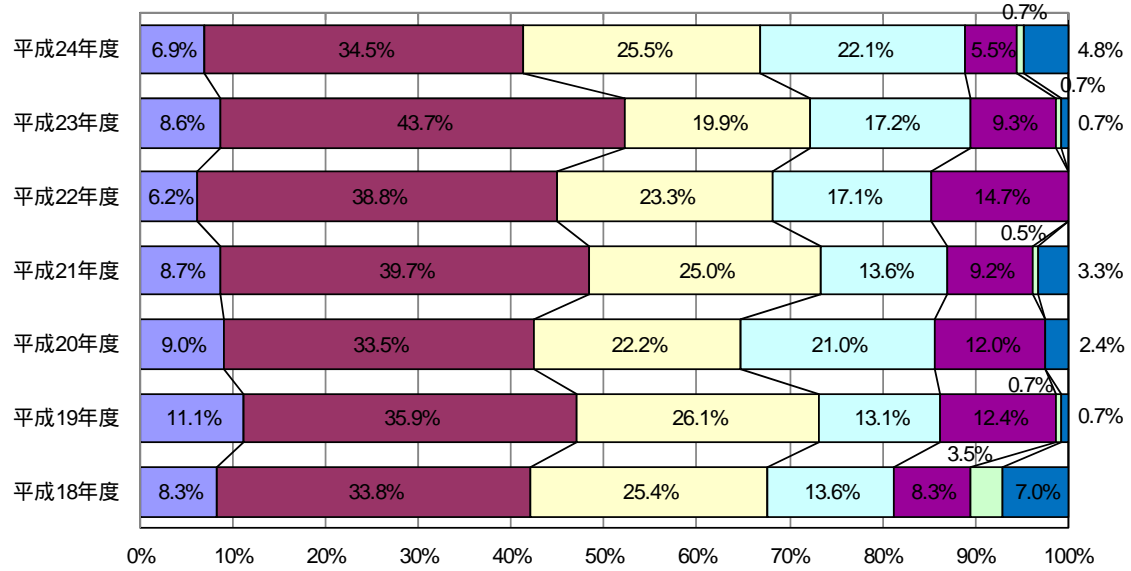
また、居住地別の結果は次ページのとおりです。「住みよい」「まあ住みよい」と回答した市民の割合は、備前地域が36.2%、日生地域が41.4%、吉永地域39.0%となっており、備前地域のみが備前市全体の結果を下回っています。



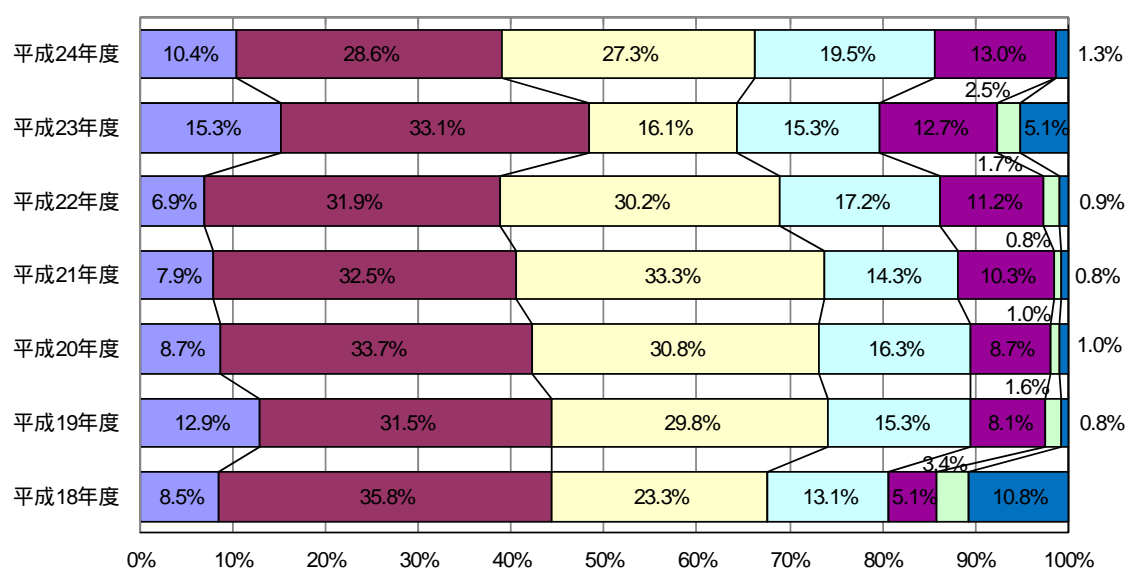
備前地域



日生地域

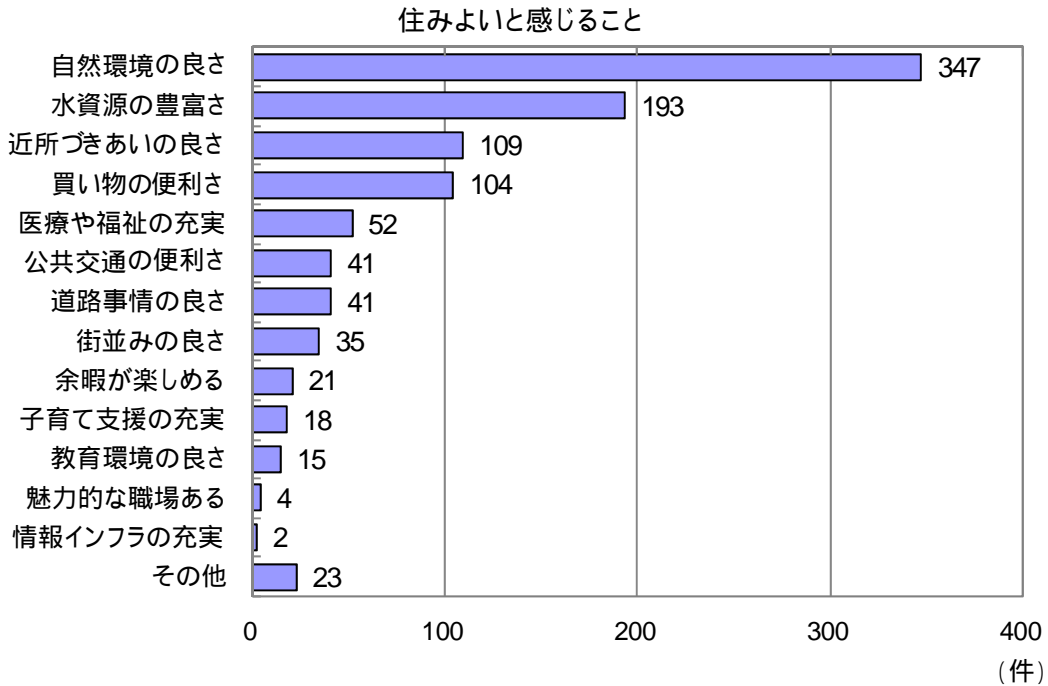


吉永地域

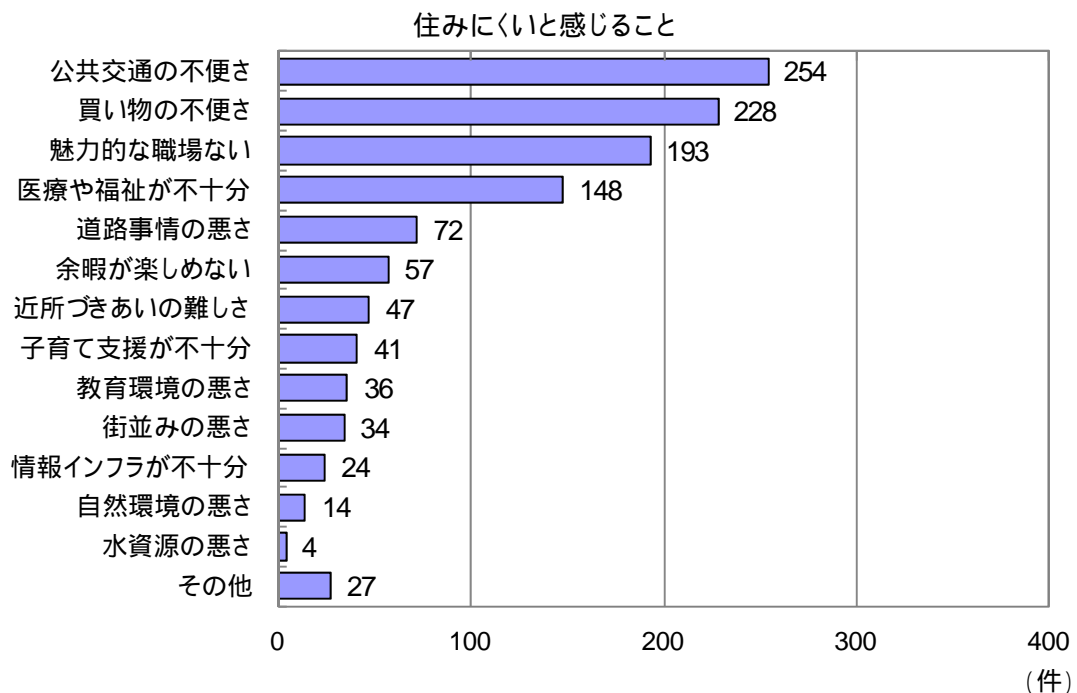


■ 住みよい ■ まあ住みよい □ どちらともいえない □ どちらかといえば住みにくい ■ 住みにくい □ わからない ■ 無回答

また、備前市の住みやすさの調査（問 2「あなたは、備前市が住みよいと感じるのはどんなことですか？あてはまる番号を 2 つまで選んで をつけてください。」）の結果、「自然環境の良さ」が 347 件、「水資源の豊富さ」が 193 件、次いで「近所づきあいの良さ」が 109 件となっています。

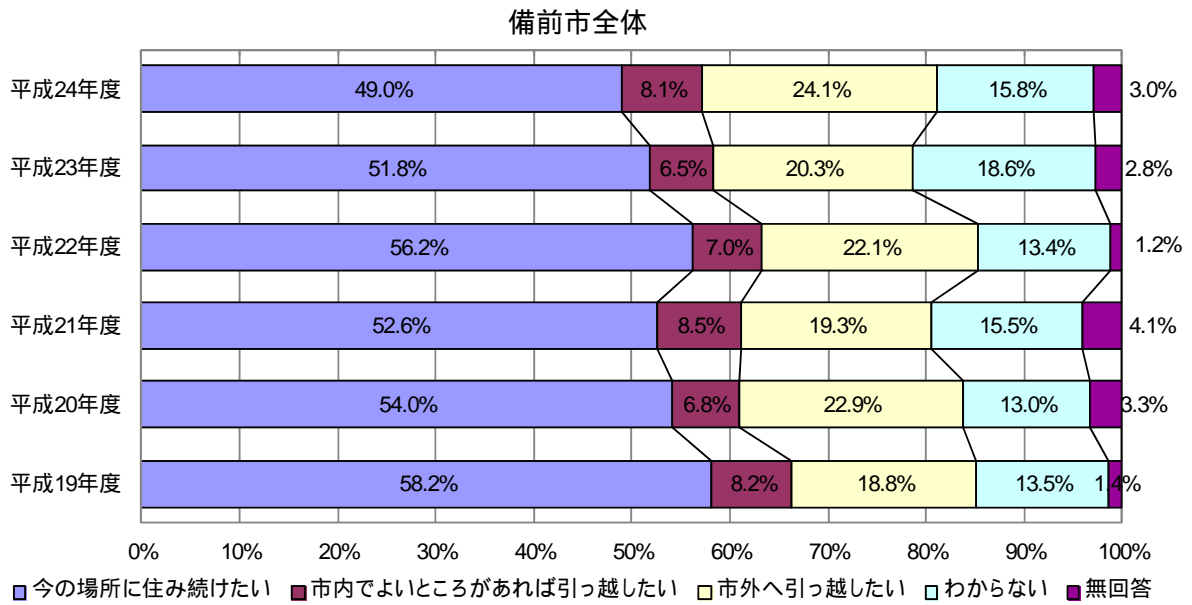


また、備前市の住みやすさの調査（問 3「あなたは、備前市が住みにくと感じるのはどんなことですか？あてはまる番号を 2 つまで選んで をつけてください。」）の結果、「公共交通の不便さ」が 254 件、「買い物の不便さ」が 228 件、次いで「教育環境の悪さ」が 193 件となっています。



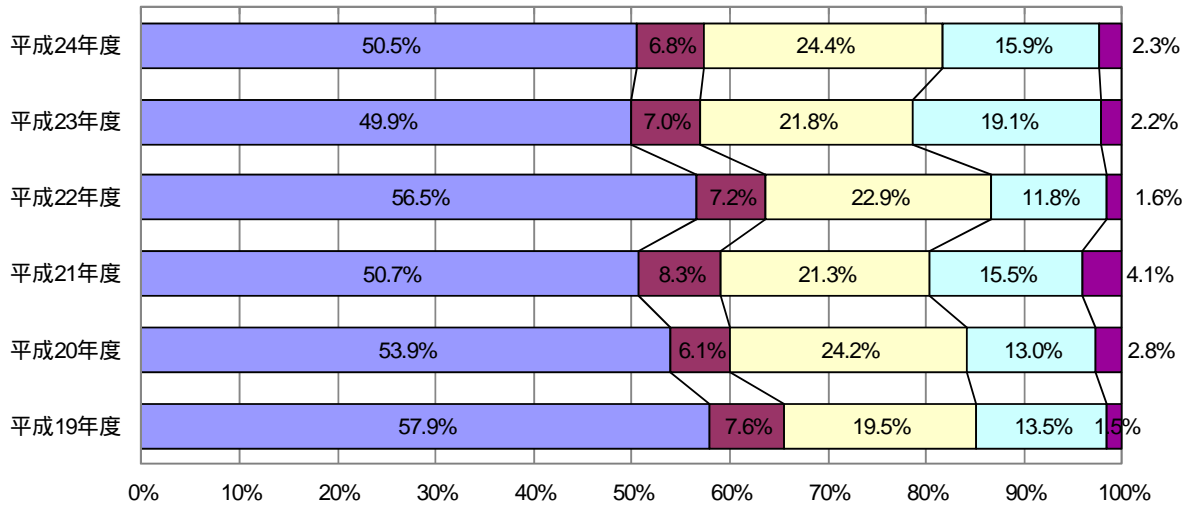
2. 定住意向調査結果

定住意向の調査（問 4「あなたは、これからも今の場所に住み続けたいと思いますか。それとも他へ引っ越したいと思いますか？」）の結果、「今の場所に住み続けたい」と回答した市民の割合は49.0%、「市内でよいところがあれば引っ越したい」が8.1%となっており、備前市に定住したいと考えている市民は57.1%となっています。

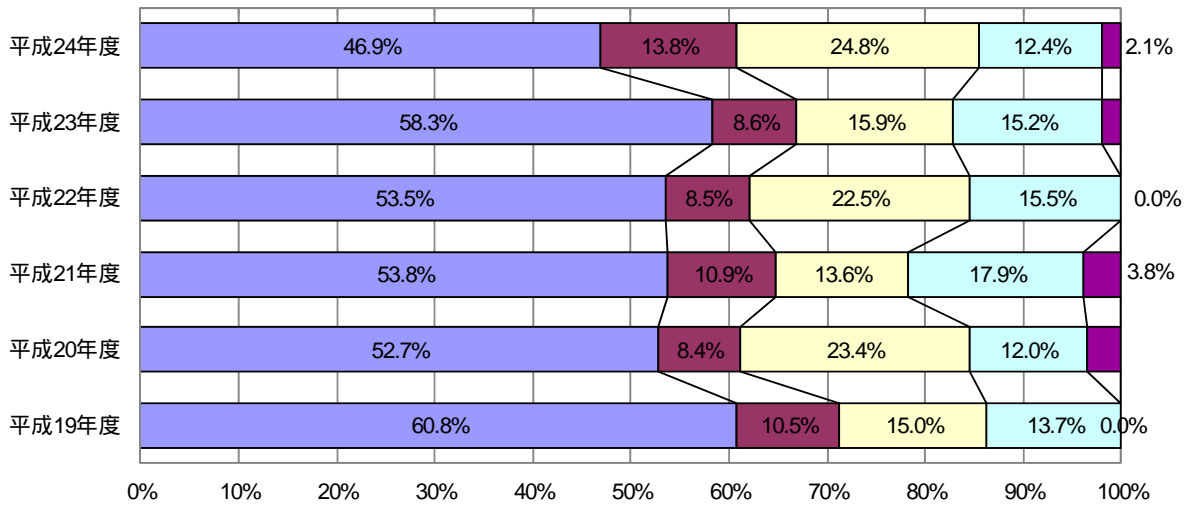


また、居住地別の結果は次ページとおりです。備前市に定住したいと回答した市民の割合は、備前地域が57.3%、日生地域が60.7%、吉永地域が52.0%となっており、備前地域と日生地域が備前市全体の結果を上回っています。

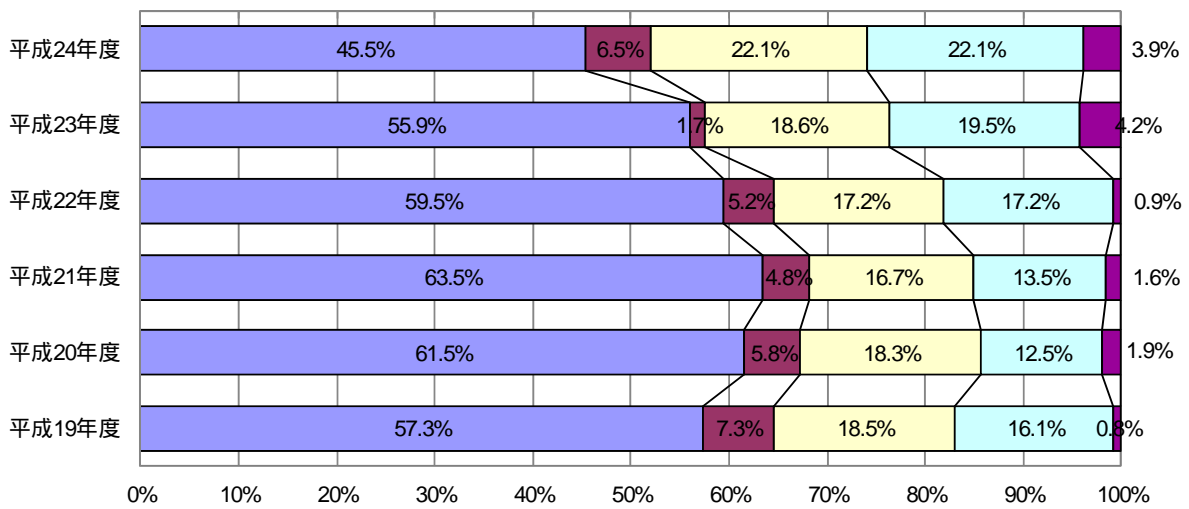
備前地域



日生地域



吉永地域



■今の場所に住み続けたい
 ■市内でよいところがあれば引っ越したい
 ■市外へ引っ越したい
 ■わからない
 ■無回答

V. 調査の概要

1. 調査方法と回収結果

(1) 調査地区

岡山県備前市全域

(2) 調査対象

市内在住の 20 歳以上 75 歳未満の男女 2,000 人

(3) 抽出方法

平成 24 年 4 月 1 日現在、満 20 歳以上 75 歳未満の市民から無作為抽出。

(4) 調査方法

調査票を郵送にて配布し、郵送にて回収。

(5) 調査期間

平成 24 年 4 月 20 日(金)～5 月 7 日(月)

(6) 回収結果

	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
抽出数 (a)	3,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人
返送 (b)	18 件	13 件	10 件	6 件	8 件	11 件	8 件
実送付数 (c)=(a)-(b)	2,982 人	1,987 人	1,990 人	1,994 人	1,992 人	1,989 人	1,992 人
有効回答数 (d)	1,306 人	906 人	892 人	977 人	811 人	892 人	702 人
有効回答率 (d)÷(c)	43.8%	45.6%	44.8%	49.0%	40.6%	44.8%	35.2%

注) 返送は、転居先不明などにより返ってきたものです。

(7) 留意点

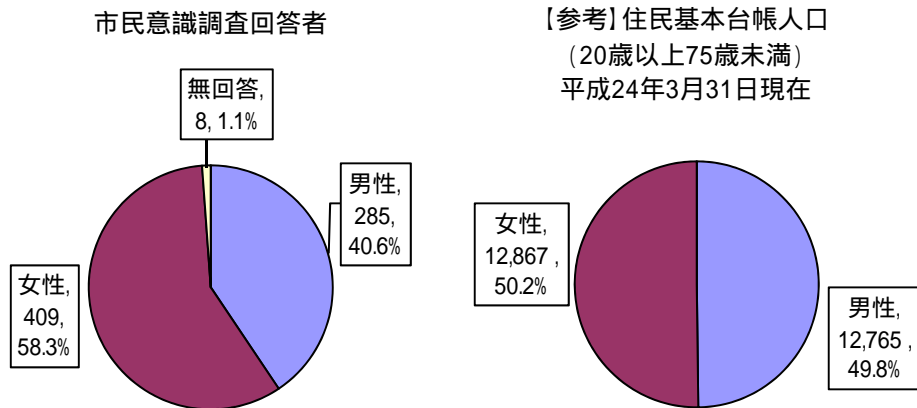
- 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第 2 位を四捨五入したため、比率の合計が 100%と一致しない場合があります。
- 一部の人を対象とする質問では、質問対象者数を分母にして算出しています。
- 複数回答の場合の百分率の合計は、100%を超えます。
- 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。
- サンプル数 (n) を記載していないグラフは、有効回答数 702 を分母としています。

2. 回答者の属性

(1) 性別

性別を見ると、「男性」が40.6%、「女性」が58.3%となっています。

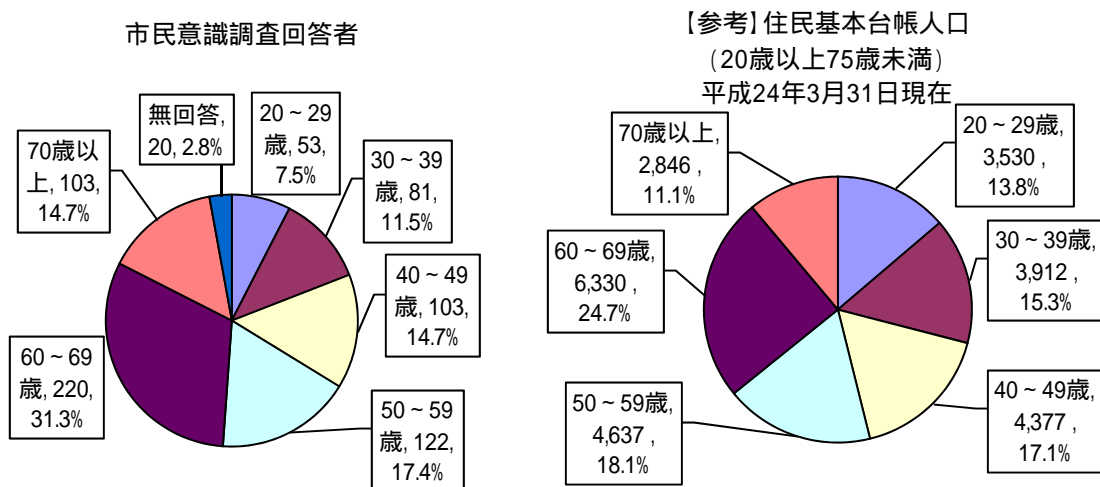
平成24年3月31日現在の住民基本台帳人口（本調査の対象が満20歳以上75歳未満の市民のため、調査対象外の人口は除いています）と比較すると、男性の回答割合が低い結果になっています。



(2) 年齢

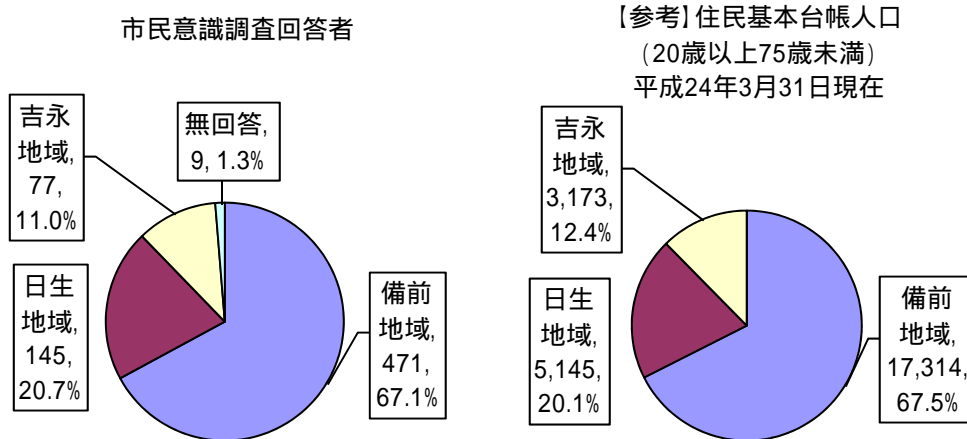
年代別に見ると、「60～69歳」が31.3%ともっとも高い割合となっています。

平成24年3月31日現在の住民基本台帳人口と比較すると、「20～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」と回答した人の割合がやや低く、「60～69歳」と回答した人の割合がやや高い結果となっています。



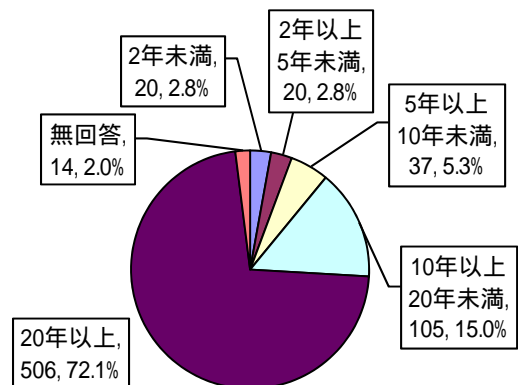
(3) 居住地域

居住地域別に見ると、「備前地域」が 67.1%、「日生地域」が 20.7%、「吉永地域」が 11.0% となっています。平成 24 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口と比較すると、同程度の割合となっています。



(4) 備前市での居住年数

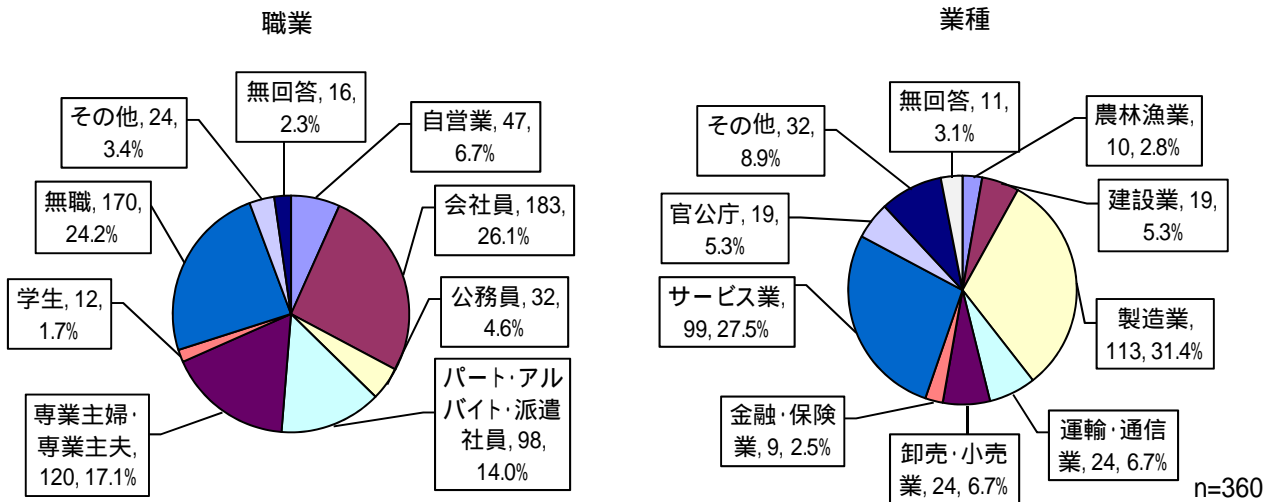
居住年数別に見ると、「20 年以上」と回答した人の割合が 72.1%ともっとも高く、次いで「10 年以上 20 年未満」が 15.0%、「5 年以上 10 年未満」が 5.3%などとなっています。



(5) 職業・業種

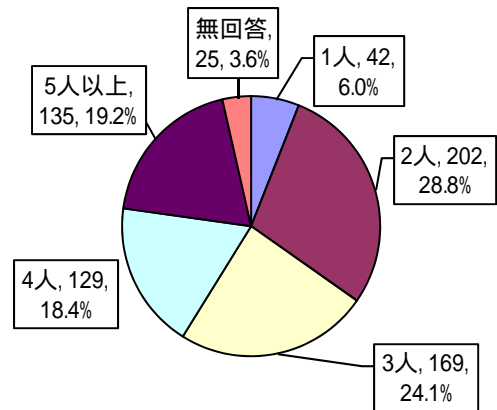
職業別に見ると、「会社員」と回答した人の割合が 26.1%と最も高く、次いで「無職」が 24.2%、「専業主婦・専業主夫」が 17.1%となっています。

また、「自営業」「会社員」「公務員」「パート・アルバイト・派遣社員」と回答した 360 人の業種は、「製造業」が 31.4%、次いで「サービス業」が 27.5%となっています。



(6) 家族構成

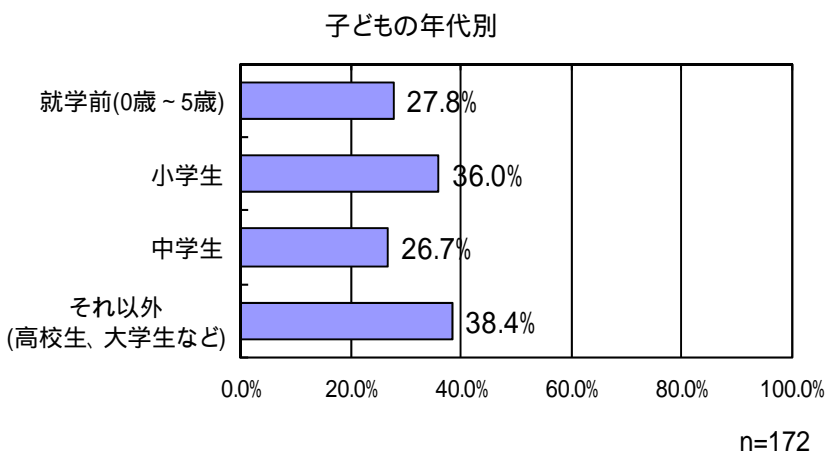
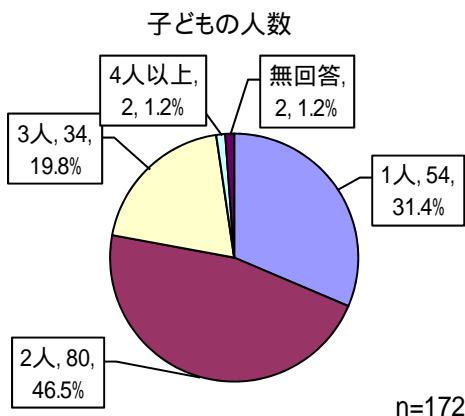
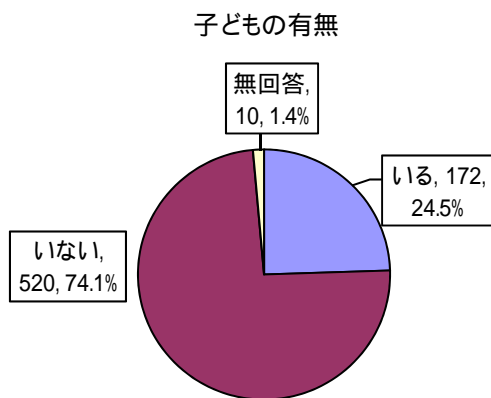
世帯人員別に見ると、「2人」が 28.8%、「3人」が 24.1%、「5人以上」が 19.2%、「4人」が 18.4%となっています。



(7) 子ども

養育中の子どもの有無について見ると、「いる」が24.5%、「いない」が74.1%となっています。

また、「いる」と回答した172人の子どもの人数は、「2人」と回答した人の割合が46.5%ともっとも高く、次いで「1人」が31.4%、「3人」が19.8%などとなっています。さらに、子どもの年代別で見ると、「就学前(0歳~5歳)」の子どもがいると回答した人の割合は27.8%、「小学生」が36.0%、「中学生」が26.7%、「それ以外(高校生、大学生など)」が38.4%となっています。

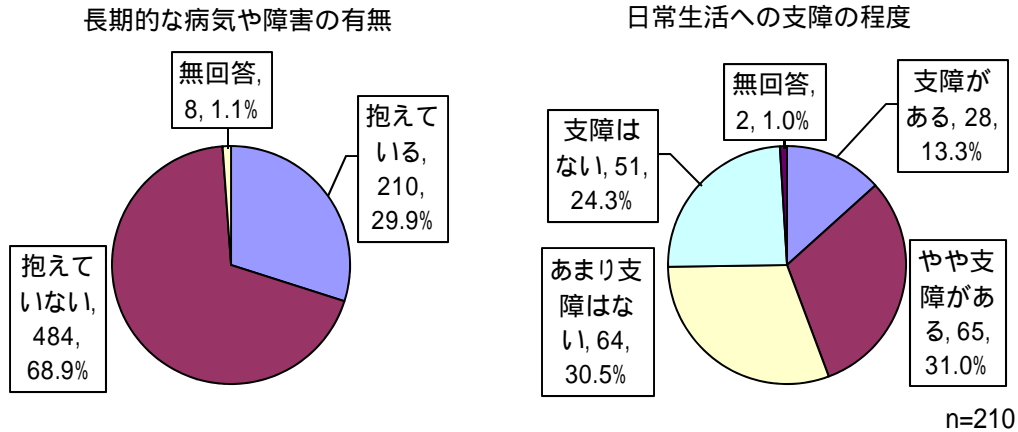


(8) 65歳以上の高齢者

同居家族(回答者本人以外)に65歳以上の高齢者が「いる」が50.4%、「いない」が48.1%となっています。

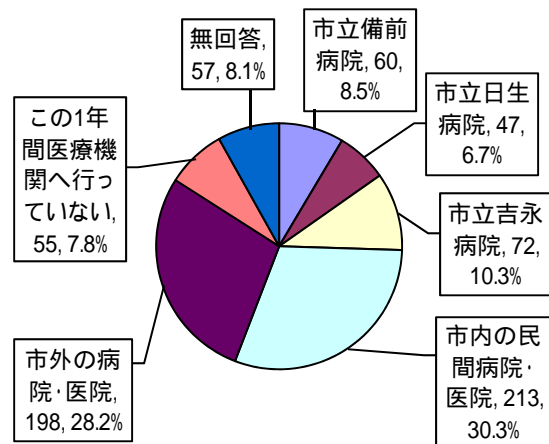
(9) 病気や障害

現時点で長期的な病気や障害を「抱えている」と回答した人の割合が 29.9%、「抱えていない」が 68.9%となっています。また、「抱えている」と回答した 210 人のうち、日常生活に支障がある（「支障がある」「やや支障がある」と回答した人の割合は、44.3%となっています。



(10) 利用する医療機関

病気にかかったとき、もっともよく利用する医療機関は、「市内の民間病院・医院」と回答した人の割合は 30.3%、「市外の病院・医院」が 28.2%、「市立吉永病院」が 10.3%、「市立備前病院」が 8.5%などとなっています。

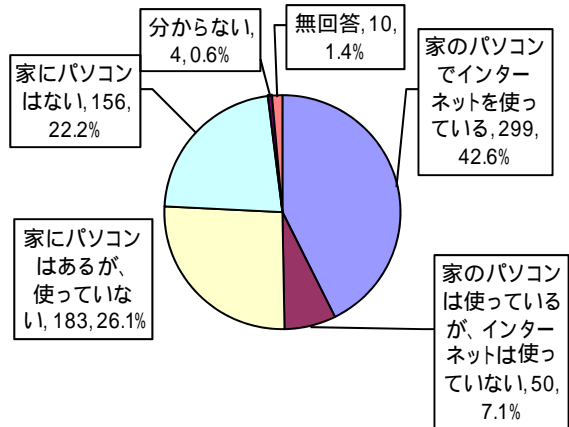


(11) パソコンの所有と利用状況

パソコンの所有状況は、家にパソコンがある（「家のパソコンでインターネットを使っている」「家のパソコンは使っているが、インターネットは使っていない」「家にパソコンはあるが、使っていない」と回答した人の割合は75.8%となっています。

また、「家のパソコンでインターネットを使っている」と回答した人の割合は42.6%、

「家のパソコンは使っているが、インターネットは使っていない」が7.1%となっています。

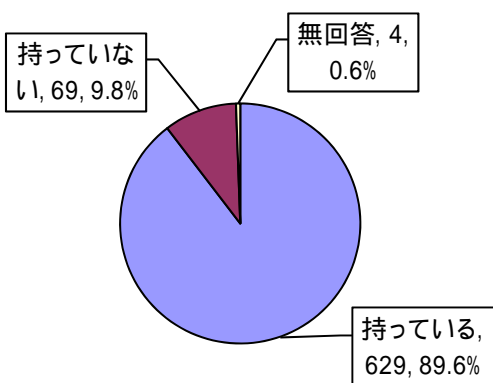


(12) 携帯電話の所有と利用状況

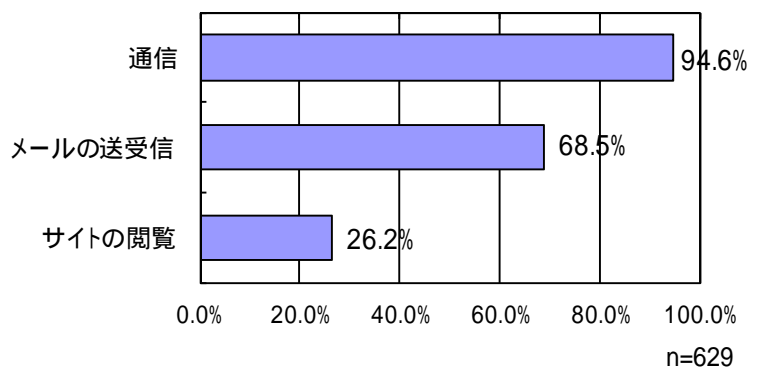
携帯電話を「持っている」と回答した人の割合は89.6%、「持っていない」は9.8%となっています。

また、携帯電話を「持っている」と回答した629人の利用状況は、「通話」が94.6%、「メールの送受信」が68.5%、「サイトの閲覧」が26.2%となっています。なお、利用状況については、該当する選択肢をすべて選ぶ設問となっています。

携帯電話の所有状況



携帯電話の利用状況 (複数回答可)



(13) 車の所有台数

車の所有台数は、「2台」と回答した人の割合が37.3%と最も高く、次いで「3台以上」が36.3%、「1台」が22.1%などとなっています。

